

第 46 回

全国空手道選手権大会

期日/2003年6月28・29日

会場/東京体育館

主催/社団法人日本空手協会

後援/読売新聞社、東京都教育委員会、財団法人日本空手道連盟

協賛/大塚製薬、東海堂

谷山卓也、5度目の総合優勝獲得!! 尾方弘二、悲願の全国制覇!

46回目を迎えた今大会、前年までに4度の総合優勝を成し遂げていた谷山卓也は、今大会も形優勝、組手3位で見事5度目の総合優勝を達成。男子組手では尾方弘二が準決勝で倒れるアクシデントに見舞われながらも決勝で杉山俊輔を下し悲願の初優勝を飾った。また女子組手では水野庸子が初優勝。女子形では中田輝美が実に5連覇を達成した。



男子個人級決勝戦は杉山と尾方の対戦、尾方は準決勝のダメージから個人的な回復で決勝戦に臨んだ

「男子個人組手」 尾方弘二、悲願の初優勝!!

実に118名が名を連ねた男子個人組手。46年間の伝統ある歴史に今年も尾方弘二の名が刻まれた。尾方弘二34歳。本部指導員歴8年の中堅どころ。過去に準優勝1回(平成13年44回大会)、3位入賞2回(平成14年45回大会、平成9年40回大会)の実績を持つが、未だ優勝はないだけに、そろそろ全国優勝のタイトルが欲しいところ。

その尾方は3回戦・志水亮介(京都)、4回戦・鳥羽智史(静岡)を下して順当に駒を進め、準々決勝で同門の本部指導員・大隈広一郎(本部推薦)を上段突きの技有り下して準決勝進出を果たした。準決勝で尾方を持ち受けていたのが、前年王者・小林邦雄(指定)である。

2連覇を狙う小林は一回戦シードの後、2回戦・高杉雅哉(静岡)、3回戦・行方晃弘(東京)を下して4回戦進出。4回戦では本部推薦の岩本宏と対戦し、時間切れ再試合から、出合いの中段突き、先



男子個人級準決勝は小林と尾方の昨年と同じ組み合わせとなった。最終まで攻防小林の上段突きが尾方の心をぎに捉え、尾方はたまたまウソ。小林の反則負けとなり尾方が決勝進出。

に攻めての上段突きで技有り二つをとって勝利。準々決勝に駒を進める。

準々決勝ではワザ師・藤井榮治(山口)と対戦。小林はその藤井を出合いの中段突きで技有り一つを奪って勝利。準決勝へ駒を進めた。

その小林と尾方の準決勝。この勝負は思わぬ結末を迎えた。互いに動きのないまま、残り時間15秒のところ小林の放った上段への逆突きが尾方のあごに綺麗にヒット! 強烈な一発を食らった尾方はたまたま倒れ、うつぶせに倒れてしまった。しばらくして起きあがっても自分の開始線がわからないほどのふらふら状態。審判は小林の反則負けを宣告し、尾方に勝ちが宣せられた。しかし勝ち名乗りを上げた尾方も立っているのがやっとの状態で次の決勝戦が危ぶまれた。



▶男子個人級準決勝、杉山俊介(指定)は準々決勝で平嶋清雄(指定)の猛攻をしのぎ準決勝に進出。準々決勝で高橋敏(指定)を下した谷山卓也(指定)と対戦。技ありを先行されるも上段突きを放ち、その谷山の腕りを捌いての中段突きを決め2-1で勝利。初の決勝進出を果たす。

杉山俊介、谷山下し決勝進出

一方、反対のブロックで注目されたのが、前年準優勝・谷山卓也(指定)である。昨年は決勝で小林に負けを喫し準優勝に終わるものの過去4度の優勝(平成7年38回大会、同8年39回大会、同10年41回大会、同13年44回大会)の経験を持つ。また41回、42回、44回、45回大会では総合優勝をおさめてもいる。その谷山は準々決勝で高橋敏(指定)を判定で下し順調に駒を進め準決勝進出を果たし、杉山俊輔(指定)と対戦。勝てば3年連続決勝進出の谷山と、同じく勝てば初めての決勝進出となる杉山。先手を取ったのは谷山だった。得意の前蹴りからの上段突きで技有り!

しかし谷山はその時に着地した右足首をひねってしまい転倒。

テーピングを施して試合に臨む谷山

だったが、動きが目に見えて鈍くなる。それでも果敢に攻める谷山、杉山に上段突きで技有りを一つ取られた後、再び蹴りから上段突きを放つ。しかしその出合いの中段突きを綺麗に取った杉山に技有り!

これで合わせ一本とした杉山が初の決勝進出を果たした。

これにより第46回大会の決勝戦は、尾方弘二と杉山俊輔の間で行われる事となった。

決勝戦は5分間3本勝負、先に2本(技有り4つ)を奪った方が勝ちとなる。

準決勝で危険な倒れ方をして意識を失った尾方だったが、決勝戦までに息を吹き返し、開始線に立って杉山との対戦を迎えた。

開始早々、杉山の上段突きを捌いて足払いからの上段突きを極めた尾方が、まずは技有りを先取。しかしすかさず杉山も負けじと中段突きで技有りを返す。

さらに中段突きで攻める杉山だったが、尾方はこれを見切って逆に杉山の上段へ裏拳打ち!これが綺麗に決まって一本!

技有り三つの計算となり、尾方はあと技有りを一つ取れば優勝と王手をかける。

最後は杉山が中段突きに来るところを尾方が捌いて再び上段裏拳!

これは技有りとなり二本目を上げた尾方が勝利!

尾方弘二、悲願の初優勝を手にした。優勝した尾方は「ここまで長かった。どうしても欲しいタイトルだったので

どうしても嬉しいです。大勢の人たちに応援してもらったからできた優勝だと思います。(準決勝戦での負傷について)綺麗にあごに決まったせいとか、何

も覚えていませんが今はすっかりしています。今後の事は今のところ何も考えられませんね」と喜びを語った。



▶女子個人級準決勝、水野庸子(指定)と昨年の覇者平山を倒した塚本めぐみ(三多摩)の対戦。

「女子個人組手」水野庸子、嬉しい初優勝!

66名が参加した女子個人組手は前年優勝の平山裕子(指定)が4回戦で塚本めぐみ(三多摩)に合わせ一本で敗退を喫する波乱が起きる。平山を破った塚本は続く準々決勝では福井彩(東京)を下して準決勝進出を果たした。

準決勝で塚本を待っていたのは駒沢大学4年生の水野庸子(指定)。昨年3位、一昨年は準優勝の実績を持つ学連のトッププレーヤーである。

その水野は塚本を相手に上段突きの技有りを二つ極めて勝利。決勝へ駒を進めた。



▶女子個人級組手準決勝、奥家沙都美(指定)と新垣美紗子(本部推薦)の対戦は奥家が果敢に攻め勝利を収める。

一方、反対のブロックでは新垣美紗子(本部推薦)と奥家沙都美(指定)が気を吐く。

今春、本部研修生を終えたばかりの新垣は準々決勝で木村真由美(埼玉)を破って準決勝進出。駒大4年の奥家は同じく準決勝で、8年前に優勝した経験を持つ奥田優子(大阪)を破って準決勝進出を果たした。

奥家vs新垣の準決勝は上段突きの技有りを二つ極めた奥家が勝利。決勝へ駒を進めた。

決勝は水野vs奥家。ともに駒沢大学の4年生同士の同門対決である。互いに手の内を知り尽くしているのか、本戦を三つの相打ちのみで0-0で引き分け、再試合となる。

再試合に入ってから水野が伸びのある突きで上段中段に突き分け技有り二つを連取。合わせ一本とした水野が優勝を果たした。

優勝した水野は「優勝は狙っていません。決勝で戦った奥家とはずっと高校時代からのライバルですが、お互いに今は駒沢大学の二人しかいない女子の4年生



▶女子組手決勝は水野と藤家の対決、延長戦を制したのは水野。無上段空突きを放つ。

として頑張っています。学生最後の年なのでこれからの試合の一つひとつ、悔いを残さないよう戦っていきたいと思っています」と更なる目標を語った。

【男子個人形】

谷山卓也、4度目の形優勝で5度目の総合V-

107名が出場した男子個人形。当然、注目を集めるのは昨年の優勝者である谷山卓也(指定)である。谷山は形でも過去3度(平成11年42回、同12年43回、同14年45回大会)の優勝者。昨年は組手でも準優勝し史上初の4度目の総合優勝を果たしている。

その谷山は予選トーナメントを順当に勝ち上がり準決勝もクリア、決勝進出を果たす。

8名の選手によって争われる決勝戦、演武順5番目に登場した谷山は得意の壮鎮を演武し44・4点。2位に着けた小林邦雄(指定)が演じた五十四歩小の43・7



▶総合優勝5回の快挙、谷山卓也(指定)の壮鎮

点に0・7点差を付けて5度目の形優勝を果たした。3位には切れのある観空小を演武した産方弘二が入賞した。

谷山は組手でも3位入賞を果たしているためこれで総合優勝。実に5回目の総合優勝となった谷山は「ここ何年かは結



▲産方弘二(千葉)は切れのある観空小で三位入賞を果たす

▲情しくも準優勝となった、小林邦雄(指定)の五十四歩小

果的に上位入賞になっていますが、いつも大会前はどうかかわからない緊張感でいっばいです。(5度目の総合優勝について)記録を特に意識しているわけではありませんが、総合優勝はいつも狙っています。(組手で敗退した杉山選手について)初対戦でしたがたいへんいい選手ですね。これからの協会を背負って欲しいと思います」と語った。



▶総合優勝に情しくも届かず、4位とをつとめた産方弘二(指定)。形は二十四歩

【女子個人形】

女王・中田輝美、盛衰の5連覇達成!

64名が参加した女子個人形は、当然4連覇中の中田輝美(指定)に注目が集まる。

その中田は予選、準決勝を難なくクリアして決勝進出。決勝では演武順7番目に登場し、得意の五十四歩小で44・2点。それまでトップだった平山裕子、新垣美紗子の43・3点を大きく上回る高得点を叩き出す。

最後の演武者・大島薫(九州地区)の

▶5度目の優勝を果たした中田 輝美(指定)の五十四歩小



▲形、組手ともに三位入賞を果たした新垣美紗子(本部推薦)、形は兼手

▲九州地区代表の大島 薫は兼手で準優勝を果たす

雲手も43・5点と中田に及ばず、中田輝美、5度目の優勝を果たした。

優勝した中田は「予選から緊張していましたが、決勝戦の一番手だった渡辺さやかさんの形を見て、これは気を抜いたら負けてしまうと思い、気合いが入りました。今年は松濤杯世界大会があるのではりきっていたのに延期になってしまっ

【団体戦大学生】

駒沢大学、形も相手もV!

団体戦大学生相手の部では、駒沢大学と大正大学が決勝で激突。両校は、去年も決勝で対戦し、大正が勝利している。それだけに、駒沢としては負けられない一戦であり、気合は充分。結果、5勝0敗で大正を圧倒し、優勝を果たした。

また20校が参加した団体形では実に11連覇中の駒沢大をはじめ8校が予選を通過して決勝進出。決勝では強豪・駒沢大が得意の裏手で39・2点を出し、2位の千葉工大の辻嶺(38・5点)を退け12年連続優勝を果たした。

【団体戦都道府県】

大将戦で制した山形県
形は千葉県が3連覇

都道府県団体組手は5人制で行われ、千葉県と山形県が決勝へ。両者2勝2敗で迎えた大将戦は千葉県・上村忠史、山形県・本間大造の両選手がともに仕掛けず、にらみ合いとなる。しかし、残り30秒を切って本間が技有りを奪い、そのままタイムアップ。判定で本間が勝ち、山形県が優勝を飾った。

また団体戦都道府県形の部では、千葉県が予選、決勝ともにウンスで36・9点を出して3連覇を達成。メンバーの産方弘二は「限られた時間の中で、きっちり稽古ができ、結果が出たのでほっとしている」と喜びを語った。

【団体戦一般】

城東支部、逆転優勝
形は江別支部が僅差の勝利!

この種目は3人制で行われ、城東支部と富山

南支部が決勝で対戦。富山南支部は野田健一が技あり2つの一本勝ちで先勝。しかし、接戦となった中堅戦、大将戦は城東支部が判定で辛くも勝利。逆転勝ちで城東支部が優勝を果たした。

また団体戦一般形の部では、8チームが進んだ決勝は前年優勝の孝士館A(千葉)が目ざれる中、北海道江別支部の3選手が呼吸の合った力強い裏手を披露。孝士館Aの五十四歩小を0・1点上回って優勝を飾った。孝士館Aは惜しくも準優勝。淡川空友館(群馬)が3位となった。

【団体戦女子】

鳴空会、接戦を制して優勝
形は駒沢大学が3連覇達成!

団体戦女子相手の部では、鳴空会が、笹有紀子、織田かおり、高橋優子のベストメンバーで臨み、決勝で駒沢大学と対戦。1勝1敗1引き分けの接戦となったが、鳴空会・先鋒の笹が一本勝ちしていたことが功を奏し、僅差で駒沢大を破った鳴空会が優勝を飾った。

団体戦女子形の部は、大会2連覇中の駒沢大学と青山学院大学が熾烈な争いを展開。決勝、まず青学大が38・9点を叩き出して駒沢大にプレッシャーをかけたが、駒沢大の裏手の採点は39・0点。紙一重で、駒沢大が辛くも3連覇を達成した。

【高校生の部】

個人組手は南大阪支部!
若林梨沙、堂々の勝利で美顔満開!

団体戦組手の部では、南大阪支部(大阪)が鴻城高校(山口)を1勝1敗1分けからの代表決定戦に持ち込み勝利し観客を湧かせた。

個人戦男子相手の部では、岩崎勝麻(静岡)が只野勝(宮城)を破って優勝。個人戦女子相手の部では、若林梨沙(長野)が河辺伸江(岡山)を破って笑顔満開。「会場に入ったときから絶対に優勝できるという気持ちになれたので、落ち着いて試合運びができました」と堂々たるコメントを披露した。

ウオーターハウス聖耶、嬉しい初優勝!

団体戦形の部では浜松開成館高校(静岡)が38・8点で浜北支部(静岡)に0・1ポイント差をつけて優勝。

個人戦男子形の部では、外田翔平(福岡)が39・5点と高得点をマーク。準優勝の馬淵大輔(静岡)を大きく突き放して優勝した。

個人戦女子形の部では、双子の高校生姉妹・ウオーターハウス美希とウオーターハウス聖耶に注目が集まった。「最大のライバルは姉の美希」と公言する妹の聖耶が決勝で38・5点をマークして嬉しい初優勝に輝いた。「今までなかなか美希に勝てなかったのが、今大会の優勝は本当に嬉しいです。両親や海外で暮らしている兄も応援に駆け付けてくれるので、そういうことを励みに100%の力が出せたと思います。でも、優勝はできましたが細かいところではいつもの悪い癖も出ていましたので、これからも気を抜くことなく練習を続けていきたいと思えます」と、勝っても兎の緒を締める聖耶。僅か0・2ポイント差で準優勝となった美希は妹に初負け。「岩鶴の途中で足を落としてしまいました。今回は聖耶に完敗です」と笑顔で脱帽した。

KARATE VIDEO ON SELL

船橋松浦道正統正伝
原典版/社)日本空手協会 土居隆興 中山正敏
松浦館十五の形
Vol.1/準時09:00
各8,000円 送料別 各30分

- Vol.1 CMP-951 平気(初~2.組)
- Vol.2 CMP-952 子会(初~2.組)後編
- Vol.3 CMP-953 成道(初~2.組)
- Vol.4 CMP-954 成道
- Vol.5 CMP-955 極意
- Vol.6 CMP-956 十手
- Vol.7 CMP-957 平気
- Vol.8 CMP-958 高橋
- Vol.15 CMP-970 成道

松浦館選定形

各8,000円 送料別 各30分
Vol.1 CMP-971 成道
Vol.2 CMP-972 成道

この商品をご希望の方はこちらまで
株式会社 チャンプ
〒109-0003 東京都港区高円寺4-19-3 徳和ビル2階
TEL. 03-3316-3198 FAX. 03-3312-6207

空手道マガジン
JK Fan
毎月23日全国一斉発売

月刊ジュエツイファン
Japan Karate Do Fan
JKA ニュース満載!!
昇段審査・各地区大会・全国大会・
松浦杯などの話題を常時掲載
お近くの
書店にてお求め下さい。
定価1,000円 本誌952円

URL www.karatado.co.jp/champ
発行 株式会社チャンプ 〒106-0003 東京都港区高円寺4-19-3 徳和ビル2階
チャンプ編集部 電話 03-3376-5061 FAX 03-3376-1531 予約受付中!! 案内 電話 03-3376-3190

JKA



'03最強の証明

VIDEO新発売

第46回
全国空手道選手権大会

■期日: 2003年6月28-29日 ■会場: 日本武道館
■商品番号 CMP-919 ■カラー: 90分(予定) ■価格 8,000円

■過去のJKA全国大会も好評発売中!! 第24回~第32回、第35回~第45回大会、
商品に関する内容・価格は当社までお問い合わせ下さい。

RESULT

男子個人組手

- [優勝] 尾方弘二(指定)
- [準優勝] 杉山俊輔(指定)
- [第3位] 小林邦雄(指定)・谷山卓也(指定)
- [ベスト8] 藤井榮治(指定) 大塚広一郎(本部推薦)

女子個人組手

- [優勝] 水野廣子(指定)
- [準優勝] 奥家沙都美(指定)
- [第3位] 塚本めぐみ(三多摩)・新垣美紗子(本部推薦)
- [ベスト8] 福井彩(東京) 早川陽栄(茨城) 木村真由美(埼玉)・奥田優子(大阪)

男子個人形

- 1位/谷山卓也(指定) 壮績/44・4点
- 2位/小林邦雄(指定) 五十四歩小/43・7点
- 3位/塚本めぐみ(三多摩) 五十四歩小/43・4点(再試合43・7点)
- 4位/尾方弘二(指定) 二十四歩/43・4点(再試合43・4点)
- 5位/高橋敏(指定) 五十四歩小/43・4点
- 5位/寺島寿(指定) 仕績43・3点
- 7位/斎藤拓樹(指定) 雲手/43・2点
- 8位/山本純三(京都) 雲手/42・6点

女子個人形

- 1位/中田輝美(指定) 五十四歩小/44・2点
- 2位/大島薫(九州地区) 雲手/43・5点
- 3位/新垣美紗子(本部推薦) 雲手/43・4点(再試合43・5点)
- 4位/平山裕子(指定) 技審小/43・4点(再試合43・3点)
- 5位/渡辺さやか(東京) 五十四歩大/43・3点
- 6位/東千春(神奈川) 雲手/43・2点
- 7位/山田梨美(東京) 技審小/42・5点
- 8位/井手佳寿美(東京) 失格

団体戦組手

- ▼大学生(男子)
- [優勝] 駒沢大学
- [準優勝] 大正大学
- [第3位] 国士館大学
- [第4位] 信州大学
- [ベスト8] 仙台大学、青山学院大学、千葉工業大学、重根重夫

▼団体戦道場組手

- [優勝] 山形県
- [準優勝] 千葉県
- [第3位] 大阪府
- [第4位] 埼玉県
- [ベスト8] 茨城県、静岡県、東京都、青森県

▼団体戦一般

- [優勝] 城東支部(東京)
- [準優勝] 富山南支部
- [第3位] 藤田支部(東京)
- [第4位] 小金井支部(三多摩)
- [ベスト8] 考士館C(千葉)、考士館A(千葉)、大東支部(大阪)、豊島支部(東京)

▼団体戦女子

- [優勝] 埼玉会
- [準優勝] 駒沢大学
- [第3位] 愛知学院大学
- [第4位] 三沢支部
- [ベスト8] 鶴城高校、青山学院大学、大正大学、国士館大学

団体戦形

- ▼大学生(男子)
- [第1位] 駒沢大学(雲手/39・2点)
- [第2位] 千葉工業大学(仕績/38・5点)
- [第3位] 国士館大学(雲手/38・4点)
- [第4位] 大正大学(雲手/38・1点)
- [第5位] 愛知学院大学(雲手/37・9点)
- [第6位] 仙台大学(慈恵/37・6点)
- [第8位] 慶応大学(技審大/37・4点)

▼団体戦道場形

- [第1位] 千葉県(雲手/38・9点)
- [第2位] 東京都(雲手/38・5点)
- [第3位] 北海道(雲手/38・4点)
- [第4位] 滋賀県(仕績/38・3点)
- [第4位] 神奈川県(技審小/38・3点)
- [第6位] 福岡県(仕績/37・9点)
- [第7位] 茨城県(仕績/37・8点)
- [第8位] 三重県(仕績/37・7点)

▼団体戦一般

- [第1位] 江別支部(北海道) 雲手/38・4点
- [第2位] 考士館A(千葉) 五十四歩小/38・3点
- [第3位] 淡川空友館(群馬) 仕績/38・1点
- [第4位] 草津矢倉支部(滋賀) 仕績/38・1点
- [第5位] 長津田支部(神奈川) 五十四歩小/38・0点
- [第5位] 藤田支部(東京) 雲手/38・0点
- [第7位] 石巻大洞会(宮城) 仕績/37・8点
- [第7位] 埼玉会(OB会) 燕飛/37・8点

▼団体戦女子

- [第1位] 駒沢大学(雲手/39・0点)
- [第2位] 青山学院大学(燕飛/38・9点)
- [第3位] 国士館大学(雲手小/38・6点)
- [第4位] 大正大学(雲手/37・9点)
- [第5位] 仙台大学(五十四歩小/38・3点)
- [第6位] 三沢支部(慈恵/38・0点)
- [第7位] 浜松開誠館高校(五十四歩小/37・8点)
- [第7位] 静岡県本部(二十四歩/37・8点)

高校生の部

- ▼個人戦男子組手
- [優勝] 岩崎麻(静岡)
- [準優勝] 只野聡(宮城)
- [第3位] 上田大介(福岡) 平田崇郎(静岡)
- [ベスト8] 森口大紀(静岡) 李原直樹(静岡) 小丸忠之(岡山) 藤原一哉(大阪)

▼個人戦女子形

- [第1位] 舛田翔平(福岡) 編空大/38・5点
- [第2位] 馬淵大輔(静岡) 編空大/38・3点
- [第3位] 土屋周太(岡山) 慈恵/38・3点
- [第4位] 亀山勇太(茨城) 編空大/38・1点

[第5位] 山崎美英(神奈川) 編空大/38・0点

- [第5位] 小楠貴之(静岡) 燕飛/38・0点
- [第5位] 荒木ゆう太(群馬) 編空大/38・0点
- [第8位] 田地利剛祐(静岡) 慈恵/37・9点
- ▼個人戦女子組手
- [優勝] 若林菜沙(長野)
- [準優勝] 西辺伸江(岡山)
- [第3位] 井上真実(山口) 中岡由佳(岡山)
- [ベスト8] 南月瑠月(群馬) 平めぐみ(千葉) 石井千珠(静岡) 青木麻弥(岡山)

▼個人戦女子形

- [第1位] ウォータハウス里耶(兵庫) 岩崎/38・5点
- [第2位] ウォータハウス美希(兵庫) 岩崎/38・3点
- [第3位] 井上真実(山口) 燕飛/37・9点
- [第4位] 福田草華(岡山) 編空大/37・8点
- [第5位] 山本裕子(北海道) 技審大/37・7点
- [第6位] 山内美紀(宮城) 編空大/37・6点
- [第6位] 酒井明日香(岡山) 岩崎/37・6点
- [第8位] 久野史織(静岡) 慈恵/37・5点

▼団体戦組手

- [優勝] 南大阪支部(大阪)
- [準優勝] 鶴城高校(山口)
- [第3位] 松本第一高校(長野)
- [第4位] 松商学園高校(長野)
- [ベスト8] 静岡北高校(静岡)、松和館(長野)、新川高校(富山)、浜北支部(静岡)

▼団体戦形

- [第1位] 浜松開誠館高校(静岡) 慈恵/38・8点
- [第2位] 浜北支部(静岡) 慈恵/38・7点
- [第3位] おかやま山陽高校(岡山) 慈恵/38・6点
- [第4位] 武蔵工業大学第二高校A(長野) 慈恵/38・5点
- [第5位] 淡川空友館(群馬) 慈恵/38・1点
- [第5位] 西武台高校(埼玉) 慈恵/38・1点
- [第7位] 松本第一高校(長野) 38・0点
- [第8位] 静岡北高校(静岡) 慈恵/37・6点

小学生、中学生 全国空手道選手権大会

総合優勝は2年連続で宮城県に!!



協会の未来を担う約3700名の小学生、中学生選手が長野県Mウェーブに集結した



1998年冬、日本国中が清水宏保選手の金メダルに喚起した。その検舞台の長野市オリンピック記念アリーナ「Mウェーブ」にて、さる8月2日(土)、3日(日)社団法人日本空手協会第46回小学生、中学生全国空手道選手権大会が開催された。過去長野県では2回少年大会が行われ、今回で3回目となる。

前回大会から創設された総合優勝は、宮城県が2年連続で優勝、2位には山梨県、3位は青森県が入った。宮城県は大会直前に地震に見舞われ練習場所にも苦勞しながらも力を出し切り、価値ある連覇を飾った。

最高の舞台を用意してくださった中山広重県本部長、大日方俊夫事務局長をはじめとし、長野県の役員、少年役員の皆様ありがとうございました。

大会の結果は以下の通り。

日時：2003年8月2日(土)、3日(日)
場所：長野市オリンピック記念アリーナ「Mウェーブ」

主催：社団法人日本空手協会
共催：長野市・長野市教育委員会
主幹：社団法人日本空手協会長野県本部
後援：長野県・長野県教育委員会・財団法人ながの観光コンベンションビューロー・販売新聞社・信濃毎日新聞・SBC信濃放送・TBSテレビ信州・NBS長野放送・TBSテレビ信州・ABN長野朝日放送・NHK長野放送

参加選手数：3,700名
観客動員：2万2千人(2日間)

団体戦 大会結果 1日目

●中学生団体形

優勝	三重県本部(三重県) 観空大	37.0
準優勝	新潟県本部(新潟県) 慈恩	36.6(36.7)
三位	鮎川支部(宮城県) 慈恩	36.6(36.4)
四位	福源院道場(山梨県) 観空大	36.6(36.2)
五位	四日市南支部(三重県) 慈恩	36.5
六位	壽和館(青森県) 岩鶴	36.5
七位	御殿場西支部(静岡県) 慈恩	36.0
八位	小城支部(佐賀県) 慈恩	36.0

●小学生高学年団体形

優勝	矢本支部(宮城県) 慈恩	36.4(36.5)
準優勝	甲府支部(山梨県) 観空大	36.4(36.3)
三位	女川支部(宮城県) 岩鶴	36.1(36.4)
四位	三重県本部(三重県) 慈恩	36.1(36.1)
五位	名古屋中川支部(愛知県) 慈恩	36.0
六位	弘前中央支部(青森県) 慈恩	36.0
七位	福源院道場(山梨県) 観空大	35.7
八位	スポーツアカデミー教室(富山県) 慈恩	35.5

●小学生低学年団体形

優勝	福源院道場(山梨県) 観空大	36.4
準優勝	埼玉県本部(埼玉県) 観空大	36.1
三位	名古屋中川支部(愛知県) 慈恩	35.8
四位	修空館道場(宮城県) 慈恩	35.5
五位	平塚神空会支部(神奈川県) 燕飛	35.5
六位	鶴見支部(大阪府) 燕飛	35.5
七位	東桂町支部(山梨県) 慈恩	35.4
八位	岐阜支部(岐阜県) 慈恩	35.2



中学生団体形 上位3チーム



小学生高学年団体形 上位3チーム



小学生低学年団体形 上位3チーム

●中学生団体組手

優勝	浜松開誠館中学校(静岡県)
準優勝	石巻中央支部(宮城県)
三位	壽和館(青森県)
四位	波川空友館(群馬県)
敢闘賞	東北学院中学校(宮城県)、高籠塾青空会(茨城県)、福源院道場(山梨県)、大阪府本部(大阪府)

●小学生高学年団体組手

優勝	弘前中央支部(青森県)
準優勝	熊本県本部(熊本県)
三位	西脇支部(兵庫県)
四位	種美松壽館(兵庫県)
敢闘賞	岩手県本部(岩手県)、青森県空館(青森県)、宇治支部(京都府)、岐阜支部(岐阜県)

●小学生低学年団体組手

優勝	東桂町支部(山梨県)
準優勝	宇治支部(京都府)
三位	石巻中央支部(宮城県)
四位	愛知原本部(愛知県)
敢闘賞	石巻支部(宮城県)、御殿場支部(静岡県)、名古屋中川支部(愛知県)、甲府支部(山梨県)



中学生団体組手 上位3チーム



小学生高学年団体組手 上位3チーム



小学生低学年団体組手 上位3チーム

●小6女子形

優勝	新岡清夏(青森県)観空大	36.3
準優勝	杉森美咲(北海道)慈恩	36.0(36.2)
三位	背野遼(山形県)慈恩	36.0(35.9)
四位	伊藤さくら(長野県)観空大	35.7
五位	小林麻優(北海道)慈恩	35.6
六位	藤部幸恵(東京都)慈恩	35.5
七位	泉沢愛美(山梨県)観空大	35.0
八位	山口沙季(岐阜県)燕飛	34.9



小6女子形 上位入賞者



小4女子形 上位入賞者

●小5男子形

優勝	藤原敬志(佐賀県)燕飛	36.0(36.4)
準優勝	鈴木幸太(宮城県)岩鶴	36.0(35.8)
三位	橋口拳吾(福岡県)燕飛	35.9(36.0)
四位	里村龍(青森県)岩鶴	35.9(35.9)
五位	加藤玄太(新潟県)慈恩	35.5
六位	渡辺裕也(宮城県)慈恩	35.5
七位	江口直也(愛知県)慈恩	35.4
八位	押野友(山形県)燕飛	35.3



小5男子形 上位入賞者

個人戦形 2日目

●小3男子形

優勝	志村悠麻(山梨県)慈恩	35.8
準優勝	鈴木雄斗(静岡県)慈恩	35.7
三位	竹内拓海(石川県)燕飛	35.6
四位	甲野達行(石川県)慈恩	35.6
五位	後藤俊(静岡県)慈恩	35.5
六位	佐藤勇生(宮城県)慈恩	35.4
七位	阿部寛也(山形県)慈恩	35.0
七位	井上大河(北海道)抜塞大	35.0



小3男子形 上位入賞者

●中1男子形

優勝	高山翔太(三重県)慈恩	36.1
準優勝	中村洸(青森県)岩鶴	35.8
三位	吉田龍太(福岡県)観空大	35.8
四位	松本藤弘(埼玉県)観空大	35.6
五位	相馬昂翔(青森県)燕飛	35.6
六位	伊藤晃寛(三重県)慈恩	35.5
七位	坂部崇政(兵庫県)慈恩	35.2
八位	宮本祐太(京都府)観空大	35.1



中1男子形 上位入賞者

●小3女子形

優勝	井上莉紗子(愛知県)慈恩	36.5
準優勝	田代真麻(熊本県)観空大	35.8
三位	富樫日都美(山形県)慈恩	35.6
四位	田岡雅子(大阪府)慈恩	35.4
五位	本間花梨(山形県)慈恩	35.3
六位	坂野結楓(千葉県)慈恩	35.0
六位	木村紗矢香(宮城県)慈恩	35.0
八位	金子遥(千葉県)抜塞大	34.6



小3女子形 上位入賞者

●中1女子形

優勝	西瑠季(佐賀県)慈恩	36.0
準優勝	松本知佳(神奈川県)燕飛	35.8(36.2)
三位	川戸愛華(京都府)岩鶴	35.8(35.7)
四位	佐々木由依(宮城県)慈恩	35.7
五位	大川紗由里(千葉県)燕飛	35.6
六位	赤坂たまみ(栃木県)観空大	34.7
六位	成澤有美(宮城県)慈恩	34.7
六位	石田奈美(群馬県)観空大	34.7



中1女子形 上位入賞者

●小5女子形

優勝	高橋愛季(宮城県)岩鶴	36.4
準優勝	小島瑠都(宮城県)岩鶴	36.2
三位	伊藤玲奈(三重県)抜塞大	35.9
四位	秋山里絵(埼玉県)観空大	35.7
五位	工藤寿乃(宮城県)慈恩	35.5
六位	内田陽子(兵庫県)慈恩	35.3
六七位	清水榮理奈(福岡県)慈恩	35.2
七位	山口文乃(岐阜県)燕飛	35.2



小5女子形 上位入賞者

●小4男子形

優勝	大川剛(千葉県)観空大	36.4
準優勝	藤原将彦(愛知県)慈恩	35.9
三位	尾花寛樹(兵庫県)慈恩	35.7
四位	西村柱人(岐阜県)燕飛	35.4
五位	袖山響(大阪府)燕飛	35.3
五位	上地悠太(三重県)燕飛	35.3
五位	山崎琢斗(岩手県)抜塞大	35.3
八位	中山寿仁(福岡県)抜塞大	35.1



小4男子形 上位入賞者

●小6男子形

優勝	吉田直之(東京都)慈恩	35.9
準優勝	鈴木秀栄(静岡県)観空大	35.8(36.5)
三位	山口航平(三重県)抜塞大	35.8(36.0)
四位	小川稜二(秋田県)観空大	35.8(35.7)
五位	中村大樹(長野県)燕飛	35.7
六位	宮地光城(福岡県)抜塞大	35.6
六位	知見和馬(山梨県)観空大	35.3
八位	鈴木優太(千葉県)観空大	35.1



小6男子形 上位入賞者

●小4女子形

優勝	河村真弥(福岡県)抜塞大	35.8
準優勝	早川香葉(大阪府)燕飛	35.7
三位	佐藤里奈(山形県)慈恩	35.7
四位	横山明利紗(岡山県)燕飛	35.5
五位	瓜生葉奈(千葉県)燕飛	35.2
六位	岡本真美(大阪府)燕飛	35.1
六位	石丸ひかる(福岡県)燕飛	35.1
八位	高久葉穂(茨城県)慈恩	35.0

●中2男子形

優勝	小林優祐(北海道)観空大	36.6
準優勝	安藤誠(京都府)岩鶴	36.2
三位	林一成(石川県)観空大	36.1
四位	阿部翔太(宮城県)慈恩	36.0
五位	雨宮和裕(山梨県)観空大	35.8
六位	白石和茂(福岡県)燕飛	35.6
七位	藤木信之(宮城県)慈恩	35.5
八位	野口州平(福岡県)観空大	35.0

●小4男子組手

- 優勝 今野裕登(宮城県)
 準優勝 山崎琢斗(岩手県)
 三位 松本拳(静岡県)
 三位 木口廉清(山梨県)
 敢闘賞 藤井慶(福岡県)、松崎恵太(茨城県)、
 稲詰友志(三重県)、藤原祥基(愛知県)



小4男子組手 上位入賞者

●小4女子組手

- 優勝 石丸ひかる(福岡県)
 準優勝 高山莉菜(三重県)
 三位 石森千晶(宮城県)
 三位 町田千堯(栃木県)
 敢闘賞 河村真弥(福岡県)、大金美舞(茨城県)、
 福高奏(京都府)、山崎遥加(大阪府)



小4女子組手 上位入賞者

●小5男子組手

- 優勝 北嶋直弥(茨城県)
 準優勝 本間義人(山形県)
 三位 中善寺豪(山形県)
 三位 芹澤拓実(静岡県)
 敢闘賞 四元敬一(神奈川県)、松峯利樹(長野県)、
 里村龍(青森県)、保田克也(茨城県)



小5男子組手 上位入賞者

- 四位 砂子澤歩美(岩手県)岩鶴 35.5
 四位 草野明日香(東京都)岩鶴 35.5
 六位 梶本静美(静岡県)慈恩 35.0
 六位 菊地晴香(青森県)慈恩 35.0
 八位 長田祐希(静岡県)燕飛 34.9



中3女子形 上位入賞者

個人戦 組手

●小3男子組手

- 優勝 山口巧磨(佐賀県)
 準優勝 津田敏(宮城県)
 三位 窪田桂(滋賀県)
 三位 藤村貴敏(宮城県)
 敢闘賞 斉藤剛徳(青森県)、佐藤勇生(宮城県)、
 水谷諒(茨城県)、佐藤征哉(山梨県)



小3男子組手 上位入賞者

●小3女子組手

- 優勝 本間花梨(山形県)
 準優勝 橋口美(福岡県)
 三位 井上真理子(愛知県)
 三位 鈴木見佳(愛知県)
 敢闘賞 佐久間礼和(青森県)、朝倉舞(愛知県)、
 青木美優(栃木県)、井上莉紗子(愛知県)



小3女子組手 上位入賞者



中2男子形 上位入賞者

●中2女子形

- 優勝 深作世里乃(茨城県)燕飛 36.0
 準優勝 小林実希(三重県)観空大 35.9
 三位 石田三重子(山形県)観空大 35.6
 四位 青森優貴(岡山県)慈恩 35.2
 五位 山崎ありさ(神奈川県)慈恩 34.9
 六位 千葉菜美(宮城県)観空大 34.8
 七位 青木瑠(神奈川県)燕飛 34.8
 八位 藤田理絵(静岡県)慈恩 34.5



中2女子形 上位入賞者

●中3男子形

- 優勝 高部裕也(山梨県)観空大 36.6
 準優勝 徳光宏太(北海道)慈恩 36.3
 三位 吉田知之(東京都)慈恩 36.0
 四位 白根佑貴(福岡県)慈恩 36.0
 五位 渡邊大輔(山形県)慈恩 35.9
 五位 渡辺将貴(静岡県)燕飛 35.9
 七位 内橋教郎(兵庫県)慈恩 35.8
 八位 飯島基成(千葉県)燕飛 35.4



中3男子形 上位入賞者

●中3女子形

- 優勝 葛西美由紀(青森県)岩鶴 36.5
 準優勝 堀裕奈(岐阜県)岩鶴 36.0
 三位 鈴木ゆかり(静岡県)慈恩 35.6

専用空手衣新登場!

常に妥協することなく新しい伝統を築きあげてきた『守礼堂』が、激しい運動にも柔軟に対応する新素材から生み出した、形、組手専用空手衣。軽く、しかも激しい動きに対応する芯の強い形専用空手衣「ニューウェーブ」あらゆる動きに対応する強度、伸縮性、軽さを備えた組手専用空手衣「フリーアクション」常に最高のパフォーマンスを引き出す空手衣です。

■守礼堂 本社

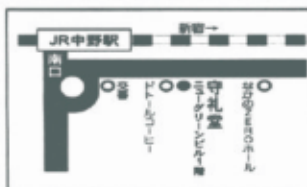
〒900-0012 沖縄県那覇市泊1丁目1番6号 TEL (098) 861-5621・FAX (098) 861-5525
 FreeDial 0120-612341・FreeFax 0120-612342

■関西 守礼堂

〒536-0008 大阪府城東区関目2丁目12番36号 TEL (06) 6931-8864・FAX (06) 6931-8863

■九州 守礼堂

〒890-0023 鹿児島市永吉町3丁目10番15号 TEL (099) 255-8471・FAX (099) 255-1547



守礼堂 東京支社

〒164-0001 東京都中野区中野2丁目23番1号
 ニューグリーンビル1階103号
 TEL (03) 5342-3051・FAX (03) 5342-3052
 URL www.karatado.co.jp/shureido
 e-mail shureido@orange.ocn.ne.jp
 ●営業時間 9:00~18:00 ●休日 日曜・祝日

●中2女子組手

優勝 小林実希(三重県)
 準優勝 大森佳奈(宮城県)
 三位 青森優貴(岡山県)
 三位 高谷郁子(青森県)
 敢闘賞 加藤智弘(新潟県)、内田早紀(京都府)、高橋しほ(宮城県)、又吉さつき(静岡県)



中2女子組手 上位入賞者

●中1男子組手

優勝 野村亮太(宮城県)
 準優勝 成澤正和(宮城県)
 三位 宗岡大貴(福岡県)
 三位 阿部裕介(宮城県)
 敢闘賞 豊田大喜(神奈川県)、松本陸弘(埼玉県)、井上達義(宮城県)、鈴木了平(静岡県)



中1男子組手 上位入賞者

●小5女子組手

優勝 阿部千玲(宮城県)
 準優勝 工藤寿乃(宮城県)
 三位 池上明里(静岡県)
 三位 五十嵐梨花(大阪府)
 敢闘賞 筒井紀江(大分県)、森田春葉(鳥取県)、金子夕子(宮城県)、佐藤クリスティー(北海道)



小5女子組手 上位入賞者

●中3男子組手

優勝 山本龍太郎(大阪府)
 準優勝 高橋大樹(宮城県)
 三位 内藤敦郎(兵庫県)
 三位 白井一輝(千葉県)
 敢闘賞 永田将太(静岡県)、末永泰久(宮城県)、石田一樹(福岡県)、八代浩輝(岡山県)



中3男子組手 上位入賞者

●中1女子組手

優勝 坂本友香里(鳥取県)
 準優勝 椎名優(千葉県)
 三位 葛西由里加(青森県)
 三位 岡田光紗枝(京都府)
 敢闘賞 八代明穂子(岡山県)、大川紗由里(千葉県)、本田隼(大分県)、川島愛加(岐阜県)



中1女子組手 上位入賞者

●小6男子組手

優勝 松山祐太郎(青森県)
 準優勝 先田翔一(福岡県)
 三位 長谷川翔太(兵庫県)
 三位 佐藤勇輝(茨城県)
 敢闘賞 松田恭平(福岡県)、宮永健太(福高県)、原田龍(群馬県)、古野良太(大阪府)



小6男子組手 上位入賞者

●中3女子組手

優勝 北原千亜記(大阪府)
 準優勝 草野明日香(東京都)
 三位 金田望美(福岡県)
 三位 菊地晴香(青森県)
 敢闘賞 山田小百合(新潟県)、葛西美由紀(青森県)、阿部文香(宮城県)、関志保(大阪府)



中3女子組手 上位入賞者

●中2男子組手

優勝 芥川昌宏(静岡県)
 準優勝 堀籠善樹(宮城県)
 三位 鹿田大策(福岡県)
 三位 伊藤隆(三重県)
 敢闘賞 須原佑介(兵庫県)、伊藤豪(福岡県)、神翔太(三重県)、武田伊織(茨城県)



中2男子組手 上位入賞者

●小6女子組手

優勝 橋本泉(東京都)
 準優勝 勝岡未来(兵庫県)
 三位 上山莉奈(大阪府)
 三位 中川恵(宮城県)
 敢闘賞 清川景(神奈川県)、杉森美咲(北海道)、嶋屋汐香(山形県)



小6女子組手 上位入賞者

形態安定空手衣 **NST**

軽くて縮まない空手着 "NST"。一流選手をサポートするブランドです。

インターネットで
 気軽にEメール
 でご注文を!!

www.toukaido.co.jp

Eメールアドレス tokaido@par.odn.ne.jp

お申し込み・
 お問い合わせ

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-12-14 麹町KYビル6F
 TEL / 03-3262-0281 (代表) FAX / 03-3234-9387

空手衣の

東海堂



支部だより

地震を乗り越えて

空手協会矢本支部

こちらは7月26日の宮城県東部連続地震で、大きな被害を受けた矢本支部です。宮城県の河内町、南郷町、鹿島台町、そしてここ矢本町は特に被害がひどく8月末の今現在も、自宅には帰れず仮設住宅に入居せざるを得なくなつた方々が大勢います。空手協会矢本支部の子供たちも全国大会に向けての強化練習の真っ最中にこの大きな地震を経験しました。いつも練習で使わせてもらっていた、矢本町の中学校、小学校の体育館は避難場所となり、昼2時間・夜2時間の一日合計4時間の練習の予定がまったく出来なくなりました。大会までちょうど1週間、一度も練習せず、ぶつけ本番で望むことはどうしても避けたいと強く思いました。

練習場所を使えなくなつたばかりでなく、選手の家ももちろん被害を受けましたし支部長である吉田啓作先生の家は全壊した河内町の北村小学校と同じ地区にあり、やはり大きな被害を受けました。家の後片付けも出来ない状況の中、それでも誰一人「長野に行かない、行けない」と申し出た家庭はなく、27日、28日は練習場所がどうしても確保できず出来ませんでした。何とか昼だけでもどこかで考えた時、思い浮かんだのが隣の石巻市にある湯殿山神社の道場でした。会ったことなく話したこともなく、もちろんお参りにいったこともない神社に突然夜8時ごろ電話をかけ、「こちらは矢本町の日本空手協会とうとうします、今回の地震の被害で突然練習場所が使えなくなりました。長野県での全国大会が直前

に迫っているんです、どうか1日1時間でも良いので子供たちのために貸していただけませんか、しょうか。」と伝えると「いいよ、いいよ、昼なら開いてるから、そういう事情ならどんな使いなさい！」と神主に言っていたとき、その時の感動は忘れられません。もともとその神社では、空手協会石巻支部が夜、週2回使用していたのですが、まったくの知らない人(私)に電話だけで了解してもらい、結果、その後出発の前日の31日までの4日間を子供たちは石巻市まで遠い練習する事になりました。子供たちは夏休みとは言っても、保護者の誰もが働いているわけですから隣の市まで、長野に行く子供たち全員を練習に連れて行くことは大変です。いつもは練習場所は近くです。子供たちは自転車であたり出来ましたが今回は都合のつく保護者、みんなで協力してもらい、長野に行く子供たち全員の12人が1人も欠けることなく地震後の4日間、なんとか練習出来たのです。本当に大変な1週間、これで高学年団体形優勝、中1組手優勝、小3組手準優勝、小5形5位敢闘賞、中2女子形6位敢闘賞、中1組手ベスト8敢闘賞など、信じられないような結果になりました。今回、中学1年組手の部で優勝した子は長野県に行く直前まで隣の石巻市の祖母宅に避難してました。子供たち1人1人が頑張っただけでなく、やはりいろいろな形で協力がなければこまごまの結果にはならなかったことでしょう。

ち矢本支部が宿泊した前日、永六輔さんが隣のために来ておられ、阪神大震災のために設立した「夢風基金」を通して今回の講演料を矢本町のためにも役立てて欲しい、と全額寄付されたメールも届きました。長野から帰ってからも練習場所は相変わらず使えず、矢本支部は8月いっぱい練習は休業を余儀なくされました。全国大会に行つた子供たちだけでなく、普段の練習を一生懸命している子供たちに申し訳なく思いますが、9月からの練習をまたコツコツと続けてほしいと思つています。何よりもこの経験を忘れることなく、親も子も今後に生かしていきたいものです。

親の会・長野県宿泊担当 奥山



印刷ならなんでもご相談下さい

情報のコミュニケーションパートナー



株式会社サンワ

〒102-0072 千代田区飯田橋2-11-8 平和第5ビル
TEL. 03-3265-1816 FAX. 03-3265-1847

(世)日本空手協会総本部道場 4月17日(木)～20日(日)

国内外全国指導者講習会

185名の国内外の指導者が技術の研鑽のため総本部道場に集結。外国人師範初、特別招待講師にスタン・シユミット氏(南アフリカ)。

毎年春、秋2回行われる全国合宿、今年には松涛杯開催(SARSの為、来年に延期決定)の為、春のみの開催となる。今年には特別招待講師に外国人として初めてスタン・シユミット氏を招き、4日間にわたって開催された。最終日にはスタン・シユミット氏による「技術より心術」のテーマの講習会が行われ、国内外の指導者が熱心に耳を傾けた。



▶外国人の師範では初。スタン・シユミット氏。特別招待講師として南アフリカから招待された。



◀合宿には国内外指導者185名が集まった。



▲技量大からの応用組手。氏の指導は技量大を中心に立ち方、応用組手へと多岐にわたった。



◀杉浦初久二首席師範による総合指導。写真は体型きの指導。

【合宿撮影者】

徳島 赤木(昭次)、阪神 宇合(宏包)、
吉崎 健(寛徳)、
京都 菅原(寛志)、豊井 幸夫(敏郎)、
木村 昌樹(昭三)、森 健博(敏博)



▲小学生の部は約250名、中学生の部は約150名、計約400名が総本部道場に集結した。

日本空手協会の将来を担う小・中学生選手約400名が総本部道場に集結！
さる3月29日～4月1日の四日間、社団法人日本空手協会総本部道場にて小学生・中学生全国合宿が開催された。全国から小学生約250名、中学生約150名、計400名が参加した。
今回の合宿の目的は、正しい技術の習得、小・中学生と本部との繋がりを築くことで、全国から集まった小・中学生が本部指導員の指導の下熱心に稽古に打ち込んだ。

小学生・中学生全国合宿

(世)日本空手協会総本部道場 小学生3月29日(土)～30日(日) 中学生3月31日(月)～4月1日(火)



▲空手協会総本部主催の初の少年合宿は厳肅な雰囲気で行われた。



◀基本一本組手を行う選手たち。その表情は真剣そのもの。

一般史料は不味堂書店発行、今村嘉雄編、
体育史資料年表と岩波書店発行、歴史学研究会編、日本史年表に拠った。

1923	1922	1921	1918	1917	1916	西暦 和暦
大正 12	大正 11	大正 10	大正 7	大正 6	大正 5	月/日
9/1		3/3	11/20	3/15	2/28	
関東大震災起る。		皇太子ヨーロッパに出発。	学校衛生会、小学校で武道を教材として加えることの適否を検討し、条件付で、五年以上に認める。	ロシア、ロマノフ王朝倒る。	第三十七議会に、「小学校に武道科を加える請願」が提出される。	一般史料
54歳	53歳 5/ 県学務課のすすめにより、東京御茶の水で開かれた文部省主催第二回運動展覧会において唐手を説明した。 5/17 講道館で公開演武を行った。 / 小石川の明正塾に道場を開設した。 11/ 琉球拳法唐手を著した。	52歳 3/6 首里城正殿前において県立師範学校・中学校の生徒十名を指導し、皇太子殿下御前演武を行った。	49歳	48歳	47歳	富名腰義珍

日本空手協会総本部指定

尚武オリジナル

「尚武」

袴式空手衣



山梨県山梨市上神内川 4 0 2 - 1

有限公司 尚 武

〒4 0 5 - 0 0 1 8

電話 (0553) 23 - 5320

FAX(0553) 23 - 5340

1939	1937	1936	1935	1934	1933	1932	1931	1929	1928	1925	西暦
昭和14	昭和12	昭和11	昭和10	昭和9	昭和8	昭和7	昭和6	昭和4	昭和3	大正14	和暦
5/11	7/7	2/26			3/27	5/15 1/28	9/18			3/	月/日
ノモンハン事件起る。	日中戦争始まる。 蘆溝橋事件起る。	二・二六事件起る。			国際聯盟を脱退。	上海事変起る。 五・二五事件起る。	満州事変起る。			第五十議會で、武道が中学校の必修独立科目として可決せられる。	一般史料
70歳	68歳	67歳	66歳 / 目白雑司ヶ谷に道場を新築。 5/ 空手道教範を著した。	65歳 / 本郷弓町に松濤館を創立。	64歳	63歳	62歳	60歳 10/ 唐手術を空手道と改名。	59歳 3/20 宮内省より召されて、宮中濟寧館において、門下生十五名を引卒して演武した。	56歳 / 練胆護身唐手術を著した。	宮名歴姦珍

誕生日正のお祝い

誕生日の年齢ではなく、次の誕生日が
ありふたので、誕生日をお祝いします。

最終行の西暦

西 1914
→ 正
○ 1915

国土交通大臣登録旅行業第361号／日本旅行業協会正会員

株式会社 旅行開発センター

代表取締役 小林 昇 (師範会会員)

〒104-0061 東京都中央区銀座1-16-7 友泉銀座ビル11階

TEL. 03-5159-1080 FAX. 03-5159-1090

担当：三浦

◆連載◆空手四方山話

趙智先生
（冒頭）

余談になりませんが、禪の陰徳を積むとの教えがあります。

これは、他人が嫌がる仕事でも自主的に他からの命令ではなく、人に知られる事なく行なえば本人は、精神的にも気が楽になり満足感を味わう事が出来ます。

キリストが右のほほを打たれば左のほほを出せとの教えもこれも同じような事で恐いから左のほほを出すのでは無く、自分から左のほほを出す事によってイニシアチブがとれ積極に何事も苦しい嫌な事は自分自身から率先して行なえば精神的に楽になるとの教えだと、自分勝手に解釈して居りますが。これは私自身が拓大空手部の1年生の時に実際に経験した事ですが組手の稽古の時に先輩方が並んでいてその前に1年生がゆき組手をお願いするのですが、一人、3年生の先輩で大変強い人でしたが、意地悪で組手の時に1年生など、実力的に数段したとわかって居ても徹底的にシゴクので1年生皆んなが恐がって誰も好んで前に立とうとしませんでした。

しかし、何回か相手の交替があり、其れ迄実力の上の人と稽古をするので、へとへとに疲れておられます。それが、順番の巡り合わせが悪くてこの先輩の相手をした時には最悪でした。後で考えて見ますとどう見ても相手は実力が上でましては何回も相手の交替をし、へとへとに疲れて居る時にこの先輩に当たったのでは100に1つのチャンスも無いのは当たりまえと気が付きました。

当時、空手部道場は大学の敷地内の合宿所の隣に有り1月の内大部分の日は、朝、昼、夜の3回稽古でしたが、拓大は学校当局が部活に便宜を計って呉れていました。授業と稽古時間との調整がつかない時は、2部の夜学の授業に出席する事が、認められていましたので夜稽古の後、授業出席の為急いで教室に向かう仲間が多くおりました。

朝稽古は7時から行なわれるのは有りませんが、私達1年生は6時30分道場に行き床の拭き掃除をして先輩方の来るのを待つのが普通でした。しかしキャプテンの津山先輩は、私達より早く道場に行き鏡に向かい1人で稽古をしたり

巻簾を突いて居りました。指導者とは己れに厳しく、下の人には優しく、各人の長所を伸ばすべく、と言う事無言の内に習っていました。又、舎監で有り自分の剣道師範の小山教授には、学生の失敗は自分の腹の中に飲みこんでしまい、一切本人には面と向かって説教せず、反省をうながすべきで有る、との哲学の持ち主でした。

学生時代にこの様なことが有りました。寮の門限は普通の日夜の10時ですが、土曜日は門限なしに成り、たまには同室の友人と深酒をしながら、夜中に階下のトイレに行くのが面倒になり、若さのいたりで窓を明けて2人で小便をし気持良くお会いし、挨拶をすると、趙智の前で先生にお会いし、挨拶をすると、趙智、昨夜は大変不思議な夜でな、十五夜で満月なのに、大雨が降って来たよと、言われたのは赤面のいたりでした。

此の様に先生は、あらゆる事に於いて直接当人に恥をかかせる事なく、学生を導く事の出来る先生でした。この様な人柄の先生ですから65歳で大学を退官された後、伊豆に住みたいと希望され、借家を探していたのですが、適当な所がなく伊豆に住むのを諦めようとした時、伊豆高原の城ヶ崎海岸に住んで居りました。同級生で大雨を降らした片割れが此の事を知り自分の敷地内を無料で提供し、現在はそこに玄竜庵と名付けた庵をむすび、奥様と2人で住んで居られます。現在は80歳に成られますが、近所の空いた畑を借り受け野菜などを作り収穫が有れば近所に無料で配り喜ばれておられます。

このような先生の晴耕雨読の生活をたまたまドイツの生徒を伊東に連れて行く機会が有りまして生徒が先生にお会いすると、その人格にうたれ日本にはまだ、武士が居るのかと、感心しまして居りました。私も、将来先生のような晩年を過ごせればと願って居ります。

拓大時代に良い先生、先輩、同期生との一期一会の出会いと拓大の抑忍の精神を修行した事が、私の生涯の無形の宝ものに成りました。大学卒業後、社団法人日本空手協会に研修生として入所いたしました。空手の専門家と成る為の研修ですから、学生時代の様に先輩に絶対服従等と言った様な事は有りませんが、違った厳しさが有りまして

それは全員が、プロフェッショナルの為の団体ですから、稽古を怠けても誰も注意などしてくれません。守、破、離の破の段階です。何事も自主的に稽古をして、実力を付けなければ、プロフェッショナルとしての地位を淘汰される厳しさです。

実技も、人間の力の限界まで挑戦する様な稽古で、自由組手の10人掛かり稽古などは、元立ち1人に組手の相手が順繰りに変わり、2、3名くらゐは、相手が力が上でも、どうにか互角に相手が出来るのですが、4、5番目に成ると息切れがし、思考力が薄れてきます。それ以後は無意識に近い状態になり、自分では何をしているか分からなく成ります。

この稽古の目的は、自我を取り去った後、無意識で出した技が、己れ本人が会得している、技術あるとの哲学のもとに、行なわれる稽古です。同じ目的で、一人で行なう稽古には、数稽古と言う方法が有り、何回も何回も同じ技を繰り返して行い、意識で技を出すのでは無く、身体が自然と無意識の内に正確に技を出す様にすることが行ないます。

このような方法で修行すれば如何なる場合でも平常心で対処できるように成るのです。この事は後日ドイツに赴任した時大変役に立ちました。研修生卒業後は、日本空手協会の指導員として勤務し、指導員稽古で自己研修をし、外部指導では東京芸大や独協大学空手部などを指導をし、何回か協会主催の全日本選手権にも総合優勝した後、ドイツに派遣され、1970年4月5日にケルン空港に着きました。

ケルン空港はまだ工事中で、私は始めての海外旅行で何も分からなく、バスコントロールの後、荷物も取らず、スチュワーデスさんの後について、職員の出立を通り、税関も通過せずに表に出てしまいました。

そして迎えに来てくれている金沢師範を探しますと先生は、正式な出口の方を向いて、一緒に迎えに来てくれた人に、趙智君が来たから驚かす為に、後に隠れて居ようかと話して居るときに、私が後から、抑忍と挨拶したところ大変驚かれた事が懐かしく思い出されます。

この日は丁度前任者の金沢師範がクレイイフェルド市でイースターコースを主催されて居りました。約200名、近くに参加が有りまして、ドイツでの指導はこのイースターコースが始めてでした。日本と比べて、大変体格の良い人が多く、これには驚きました。身長が190cm、200cm近くある人も珍しく無く、私のような小柄な者が来たのですから、いささか、疑いの目

で、本当に日本でチャンピオンになった先生かと思っておりました。これを察した金沢師範が、背の高い大きな人を何人か選び趙智君、相手を掛かってやっとならぬと、当時25時間くらい掛かっていたケルンに着き、その日にモンスタミみたいな大きい人の、相手をするので大丈夫です。

私も、もしここで不覚を取れば、稽古にはドイツ各地区だけで無く、ヨーロッパの他の国から方も参加しているのですから、その日の内にはうわさが広がり、以後の指導に差し支えるだけでは無くその日に、トランクを持って日本に帰らなければ成らないと思われ元立ちに立つと趙智君、当てるなよと言われ大変困りました。なぜかと言え、かの宮本武蔵も、五輪の書の中で言っておりますが、多人数と戦う時は、先制を取ってまず、相手に動揺を与えよと、言っております。

私もアンフェアですが、最初の相手には技を止めないで、直接相手の顔面に当てる相手が恐がって動揺したところを適当にあしらおうと作戦を立てたのですが金沢先生がこれを見抜き、私に注意されたのです。

それで急遽作戦を変更しまして、無名の者が、不特定多数の者に実力を知らしめる為には、完全なる勝利が必要なので、相手の中段の腹部を攻撃しても派手では有りませんし、巧く極めた後でも、生徒としては素早く、顔面に突きを出し、新任の先生の鼻にでも触り、鼻血でもだせば、敵軍を手にしたような物ですから、少しでもレジコが有れば危険をおかす事は出来ません。そこで、逆に相手の長身を利用して考えました。足にて、顔面攻撃の蹴りを極める事にしました。

普通ですと相手が190cmの身長で、こちらは165cmですので、相手が普通の高さに立って、戦う構えをしていけば身長差の為、私の蹴る相手の顔面にとくは有りません。

そこで人間の心理的錯覚を利用して、普通でも長身の相手ですから、上から見下ろすような状態に成っているところをこちらは構えの前後の足幅を長く取り、後膝を曲げ上半身を少し後にたおし、始めの構えよりも低くなり、小さく成りますと、相手はそれにつられて上半身を前に倒し、相手に合わせて低く構えたところをすかさず重心を高くとって素早く蹴れば、顔面を蹴る事が出来ます。

後で金沢先生に相手の人がなんであんなに小さくて、足の短い趙智の蹴りが、僕の顔面に届くのかと、不思議がって聞きに来たと行って居り

ました。

最初の危機はこの様にして脱し、お陰でトランプを提げて日本に帰らずに済みました。

それと同時に、コースに参加していた人達が各地区に帰る宣伝してくれたので後の指導が楽に成りました。

10月にドイツ大会がありその後、当時は1年契約でしたので次の年の契約問題が役員会で議題になり、越智がナショナルチームのコーチに成っても8月にベルギーで開かれた、ヨーロッパ大会では団体戦が予選で負けたので、契約は延長するが給料は据え置きにすると、理事会で決まったと会長から報告があり、4月にドイツに赴任し月に1度のナショナルチームの指導で8月に大会では、無理だと言ったのですが聞いてもらえず、悔しい思いをしました。これがヨーロッパの現実だと理解し、それではと、私もこちらのスタイルで来年成績が良ければ、今年据え置きに成った分も含めて、昇給するように交渉し、その了解のもとに再契約をしました。

その後、来年の構想を立てる為に、ナショナルチームを分析してみました。技術的には他国に劣る事なく、体格的にもモンスターのように大きく敏捷性も有り、他国の日本人指導者が羨む程の稽古熱心な高学歴のインテリチームです。なんの欠点もないのですが、ここ一番と言った時に実力が出し切れず、負けるといったパターンが多い事に気が付きました。実戦の経験を積ませれば矯正できるかと思ひ5月にロンドンで開かれるヨーロッパ大会まで、色々な国との対抗戦を組み実践経験を積ませました。やはりものたりず、大会を1週間後にひかえ最後のナショナルチームの稽古に集合したのですが、選手は大会が1週間後ですからドイツ人の好きな科学的な練習方法としては軽くながし、体調を整えて試合に望むのが正当な練習計画ですが突然に私が、選手10名を相手に元立ちになり、掛かり稽古を始めたのですから、選手達は何事が起こったのかと、びくりして居りました。10名をこなした後、貴方がた選手も全員が1度は元立ちになり、10人掛かり稽古をして下さいと言ひし、始めました。

彼らはこのような稽古は初めてですから、私の研修生時代と同じく、お互いにはんばんと技を掛け合い、3〜4名までは、元気でうごけるのです。5〜6人目になると、意識が朦朧となり、相手の攻撃を受けたつもりが、間合ひの見間違ひや、スピード感覚の錯覚により、顔で受ける結果となり口の中を切ったり、目の縁に当たり、お岩さんのようになつたり、選手全員が10人掛けが終わったときは、惨憺たるもので

した。

稽古の後、掛かり稽古を見ていた役員や、選手の中の一部からも、試合前にこんな厳しい稽古をして、科学的な稽古では無いとの批判が出てくる事は知っておりましたが、それを無視して大会2日前にロンドン空港に集合と話し解散しました。

約束の日にロンドンに集合してみますと、身体のかいのがアイシャドウを塗ったように、目の周りを青くして居るし、口の腫れた選手に聞いてみると、口の中を7針縫ったとの事だし、これでヨーロッパ大会の成績が悪ければ責任を取り、又、トランプを提げ、日本に帰ればよいと腹を決め、大会に望みました。

空手の団体戦は5名でチームを組み、選手の勝ち数によって優劣を決めるのですが、ドイツの先鋒は口の中を7針縫ったベータと言ふ選手でしたが、以前の試合とは格段に違い、相手が多様な攻撃をしても一歩も後に下がらず、悠然とし勝ちを制してしまいました。

他の選手も以前とは違った何かをつかんだような戦いでした。ヨーロッパ大会に初めてドイツが優勝しました。

この優勝以後は、オートリテイブが確立されたと思ひ、私がどのような無理な指導をしてもなにか要因するところが有るのだからと、指導に関しては文句を言わなくなりました。

ドイツ人は日本人と違った国民性と文化を持った人種だと感心する事があります。

(1)契約による権利と義務に関する件。
(2)社会体育参加と男女同権、平等に関する件。
(3)教育に関する改善復活戦の可能性。

以上の3点です。
ドイツ人の権利と義務、この概念がしっかりしている事には感心させられます。私は、週末はナショナルチームの指導や、協会の指導員として、全ドイツをまわつての、出張指導する他、ウィークデイの他の日は、Borghese市に自分の道場を持って居ますのでそこで、夜教えております。上級者の稽古にはボーン、ケルン、ジュウセル、ミュンスタール、オスナブリック等から参加しております。

生徒の会費は月々銀行振込みにしてあります。1年分の会費を生徒の希望で引く事になっていて、2〜3ヶ月忘れていたのですが、生徒の方から引いてないのを申し出てくるのです。日本ではなかなかないといひませせん。

反面、権利の方もきちんと主張します。1週間つづく合宿で、予定の練習時間が体育館の都合で変更になったことがありますが、終了後、一生徒から1日何分、不足で、合計、何時間何分足らなかったと、文句言ってきた事があります。

それ以後案内書には、必ず「時間及び指導者が変更になる事も有る」と書き添えるようにしております。

(2)社会体育参加と男女同権と平等の思想。
1970年代のゴールダンススポーツ計画のお陰でどのような小さな村にも、立派な体育館ができ、国民全員が週に一度はスポーツを行なうとの事で、空手のグループも殆どの町に出来、今日では大変盛んになって居ります。殆ど毎週末、地方に指導に行くのですが各地から200〜300人集まり、大変熱心に稽古しております。夏には、日本や外国に出ている指導員の人に、協力を仰ぎ、夏期合宿を開くのですが、ドイツ以外の国からも参加し、1,000名くらいの参加者が有ります。

その中で、女の占める割合はかなり多く、その比率は4対1くらいです。

稽古は最初から最後まで若いも若きも互いに汗を流して居ります。

特に感心するのは、子供が出来て3〜4ヶ月くらいで稽古を始め、夫婦が同じ時間帯で稽古をする時は、午前中は奥さんが稽古し、旦那さんが子守を、午後は交替して奥さんが子守と何事も男女平等にやつて居る事です。又、奥さんだけが稽古に来ている人は、子供を籠に入れて、体育館の稽古をして居る所に掛き、熱心に汗を流し、子供が泣けばさつとあやし、稽古を再開しております。

そのようにして、育つた子供は、小学生くらいに成ると空手を始め親子で稽古をしている微笑ましい、風景がみられます。

普通どのスポーツも女性性は男性とは一筋に練習はしないのですが、基本、形、相手の三分野の練習を、男性と伍して同等に練習が出来た事が、意外と男女同権意識の強い、ヨーロッパの女性に空手が、受け入れられる原因なのかも知れません。

(3)教育の改善復活戦の可能性、で有ります。
ナショナルチームのメンバーと言へば、どのスポーツでも優れている人が選ばれていますが、私の印象に残る生徒で当時一介の印刷工だった人がいます。彼は中学時代は先生が勉強をしながらと言つても、勉強が嫌いでエレキギターに夢中になっていたので満足に学校も出ていなかったのですが、ドイツ空手協会の執行部のメンバーに成り他の大学の役員と接触する内に、刺激を受け私のところへ相談に来ました。彼が申しますには会議などで他の役員とやりあつても教養の差を感じる事が有つて思うようにいかないので、もう一度勉強をやりなさいといふ

相談でした。私は、それは良い事だと話しどのような可能性が有るのかと聞きますと、2年間補習校に行き検定試験に受ければ大学入学資格が取れるとの事でした。少し経済的な事が問題でしたが、中学卒業後お父さんの経営していた印刷所に務めていた、経験を生かし、空手協会が機関誌を発行する事にし、その編集と、大学卒業まで、私の道場の指導を手伝ってもらふ事にしました。経済的な問題は解決し、補習校に行きました。

検定試験は、1・2で合格し、大学の医学部に進み今では立派な精神医になって居ります。その間2児の父親であり、仕事、勉強、ナショナルチームのメンバーとして猛練習を重ね、ヨーロッパ大会、世界大会などに出場して、立派な成績を取っております。彼の例に刺激されて、勉強を始め博士号をはじめ、色々の資格を取った者が数多くあります。

この精神科医のように中学卒で有りながら、30歳半ばから奮起して勉強し大学を出るという可能性が残されている時、ドイツの教育システムは、人間の可能性を考える時、大いに見習わねばならないのではないかと思ひます。

最後に、私が97年にドイツ連邦共和国大統領より、ドイツ連邦共和国十字勲章を授与された事に関して、私の感想を述べさせていただきます。事については、私の方の感じとして空手で、勲章？なんで？と受け取られたことだと思ひます。

これは、叙勲の證書に書かれていますように、国際理解に尽くしたと言ふ事でしたので、「空手を通じて文化交流に貢献した」と認定されたものと理解しております。ドイツの何万人もの生徒の中から突然に社会的に立派な人達が居る、この人達が私を推薦してくれたお陰と感謝すると同時に、生徒を代表して私が頂いたと、心得ております。

本日は、お忙しい処を最後までお聞き頂き、大変有難う御座いました。

この後、当時、東京空手部の主将でした、ベルギー滞り31年の下原伯とその同級生で一筋に汗を流しました。28年ドイツ滞り現在ジュセルに住んで居られる鈴木伯が見えて居られるので後の座談会で、空手と芸術について、お話しをうかがえればと、楽しみにして居ります。又、海外協力隊の隊員として、昨年4月より、ポーランドに派遣された、空手の指導にあたられて居る、平野先生も来られて居りますので、空手事情なども、お聞き出来ればと思つて居ります。これで「空手四方山話」を終わらせて頂きます。



大隈(以下O)―スタン先生、本日のすばらしい指導ありがとうございます。また、本日インタビューにお答えいただけましたことも重ねて御礼申し上げます。早速インタビューに移りたいのですがまずスタン先生が空手を始められた時期、年齢また動機などを教えていただけましたらありがたいのですが…

スタン先生(以下S)―1961年にまず本(西山先生、大山先生?)から入りました。以前は柔道をやっておりまして初段をいただいております。

中(以下N)―柔道をしておられたのにどうして空手を始められたのですか?

S―柔道の試合のとき足の骨を折ってしまいました。入院して落ち込んでいたとき柔道の先生が空手の本を持ってきてくれたのです。そしてその本の中に「空手家は決して稽古を休まない」と書いてあるのを読み、感銘を受けたのです。そして(足を骨折していたので)座りながら本を見て稽古を始めたのです。

N―そうですか。柔道の先生が空手の本を持ってこなかったら今のスタン先生はないわけですね。先生はその柔道の先生に感謝しなければい

けないですね。

S―まったくその通りです。

N―その先生は日本人だったのですか?

S―いいえ、シンガポールの軍隊の教官だった人です。

O―日本に空手の修行にいられたのはいつですか?又その経緯を教えてくださいませんか?

S―(日本に来る1年前までに)銀行に10年勤めていましたが妻に「なぜ本ばかり読んでいるの?日本に行きなさい」とハッパをかけられたのです。それまで銀行に10年勤めていたので2ヶ月の有給休暇をもらってハネムーンの代わりに妻と一緒に日本にきました。アジア会館に泊まりました。そのころから日本に来たときはアジア会館を利用してました。

N―そして協会にいらしたわけですね。なぜ協会を選んだのですか?また協会の印象は?

S―四谷のころでした。最初は四谷のホテル・ニュージャパンに泊まっていたのですがすぐお金がなくなっていました。(笑)様々な道場を訪ね歩いたのですが、JKAに出会いました。JKAを見たとき、美しいテクニク、するどい動き、規律正しい稽古、とにかく最高でした。とても興奮したので覚えています。今まで見たことのないものでした。ほかの道場も見に行っただけですがJKAが一番印象的でした。

N―もし、ほかの空手だったら先生の人生も変わってましたね。当時の先生、道場生で覚えておられる方は?

S―最初に道場に来たとき、杉浦先生、庄司先生、加瀬先生、榎枝先生、白井先生がいました。会員の瀬戸さんに道場を案内してもらいました。道場を覗いていると鉄腕初段をやっていました。とても印象的でした。最初のクラスのととき榎枝先生に何帯かと聞かれ「赤帯」(柔道のとときの帯)と答えました。(一同爆笑)すると初心者

クラスではなく経験者のクラスの中に入れてら

てしまいました。

N―日本では赤帯は柔道では師範クラスですからね。

O―だから経験者クラスに入れられてしまったんですね。

S―そうです。当時そのクラスにはC・W・ニコル氏もいました。妻も一緒に道場に来て稽古を見学していました。道場からホテルに戻り稽古をしていると妻が「先生はこんな感じだったよ」といつも教えてくれました。(笑)

N―真様も見取り稽古をされていたんですね。

S―はい。私にとってはすばらしい先生です。(笑)

O―最初の審査はどんな感じだったのですか?

S―机が基本、組手、形に、前、横、後ろの三方向に分かれていました。基本、五本組手の後、平安二段をやりました。第7挙動に入るとき、止まってしまいました。方向を失ってしまいました。10秒止まった後、動き出しました。

N―結果はどうだったのですか?

S―七級をいただきました。日本に来てから2週間のことです。

N―それはすごいですね。

S―妻がよい先生だったのです。(一同笑)

S―こんな事がありました。全国大会で椅子取りの演武を本部の先生と外国人2人で行うことになりました。ひとりはトーマス(初段)であと一人を決めることになりました。モイラと私が候補に挙がりました。本部の指導員の先生全員の前で、組手で決めることになりました。道場組手で特殊な戦いでした。20分ほど戦ったのですが私も、相手も必死でした。しかし、よほど面白かったのか先生方は腹を抱えて笑ってました。そして先生が「スタン、君が勝者だ。」と。そして演武に出る事に決定したのでした。

その日から指導員稽古に参加するようになり、白井先生に椅子取りの指導をしていただきました。このときの経験は私にとっても非常に重要なことです。当時私は一日5〜6時間稽古してました。大会の前に級審査を受けることが出来ました。日本に来て3ヶ月のことでした。基本、基本一本、自由一本と進み、形は平安三段、四段、五段、鉄腕初段と進み、技量大は出来なかったのので三級になり茶帯をいただきました。

全国大会の演武のときは黒帯を締めて演武をさせていただいたのでとても気分がよかったです。覚えていてます。

O―日本に来て3ヶ月でいろんなことがあったのですね。全国大会の演武はすごいことですね。そのときから指導員稽古に出るようになったのですか?

S―そのときから日本に修行に来たとき、本部の先生に「スタン、どの稽古に出たい」と聞かれ、「指導員稽古をお願いします」と答えています。非常にラッキーだと思えます。



▲全国大会で指導されるスタン師範

(笑)

N―結果はどうだったのですか?

S―七級をいただきました。日本に来てから2週間のことです。

N―それはすごいですね。

S―妻がよい先生だったのです。(一同笑)

S―こんな事がありました。全国大会で椅子取りの演武を本部の先生と外国人2人で行うことになりました。ひとりはトーマス(初段)であと一人を決めることになりました。モイラと私が候補に挙がりました。本部の指導員の先生全員の前で、組手で決めることになりました。道場組手で特殊な戦いでした。20分ほど戦ったのですが私も、相手も必死でした。しかし、よほど面白かったのか先生方は腹を抱えて笑ってました。そして先生が「スタン、君が勝者だ。」と。そして演武に出る事に決定したのでした。

その日から指導員稽古に参加するようになり、白井先生に椅子取りの指導をしていただきました。このときの経験は私にとっても非常に重要なことです。当時私は一日5〜6時間稽古してました。大会の前に級審査を受けることが出来ました。日本に来て3ヶ月のことでした。基本、基本一本、自由一本と進み、形は平安三段、四段、五段、鉄腕初段と進み、技量大は出来なかったのので三級になり茶帯をいただきました。

全国大会の演武のときは黒帯を締めて演武をさせていただいたのでとても気分がよかったです。覚えていてます。

O―日本に来て3ヶ月でいろんなことがあったのですね。全国大会の演武はすごいことですね。そのときから指導員稽古に出るようになったのですか?

S―そのときから日本に修行に来たとき、本部の先生に「スタン、どの稽古に出たい」と聞かれ、「指導員稽古をお願いします」と答えています。非常にラッキーだと思えます。

S―そのときから日本に修行に来たとき、本部の先生に「スタン、どの稽古に出たい」と聞かれ、「指導員稽古をお願いします」と答えています。非常にラッキーだと思えます。

S―そのときから日本に修行に来たとき、本部の先生に「スタン、どの稽古に出たい」と聞かれ、「指導員稽古をお願いします」と答えています。非常にラッキーだと思えます。

S―そのときから日本に修行に来たとき、本部の先生に「スタン、どの稽古に出たい」と聞かれ、「指導員稽古をお願いします」と答えています。非常にラッキーだと思えます。

S―そのときから日本に修行に来たとき、本部の先生に「スタン、どの稽古に出たい」と聞かれ、「指導員稽古をお願いします」と答えています。非常にラッキーだと思えます。

S―そのときから日本に修行に来たとき、本部の先生に「スタン、どの稽古に出たい」と聞かれ、「指導員稽古をお願いします」と答えています。非常にラッキーだと思えます。

S―そのときから日本に修行に来たとき、本部の先生に「スタン、どの稽古に出たい」と聞かれ、「指導員稽古をお願いします」と答えています。非常にラッキーだと思えます。

S―そのときから日本に修行に来たとき、本部の先生に「スタン、どの稽古に出たい」と聞かれ、「指導員稽古をお願いします」と答えています。非常にラッキーだと思えます。

S―そのときから日本に修行に来たとき、本部の先生に「スタン、どの稽古に出たい」と聞かれ、「指導員稽古をお願いします」と答えています。非常にラッキーだと思えます。

S―そのときから日本に修行に来たとき、本部の先生に「スタン、どの稽古に出たい」と聞かれ、「指導員稽古をお願いします」と答えています。非常にラッキーだと思えます。

S―そのときから日本に修行に来たとき、本部の先生に「スタン、どの稽古に出たい」と聞かれ、「指導員稽古をお願いします」と答えています。非常にラッキーだと思えます。

○指導員精古は簡単に参加できるものではないですからすごいことだと思います。

○私は生活のすべての中で空手を日本人の先生のようにやりたいと思っています。しかし皆様ご存知のように日本の先生方の技術はともハイレベルです。私（スタン）は背も高く、立ち方等、非常に難しいものがあります。何度か何度も繰り返し、精古するのですが、丸い穴に四角のものが取まらないように、いまだかつて日本人の先生のように空手が出来たことはありません。しかし指導員精古に参加でき、あらゆる世代の指導員の先生の技術に触れることが出来た。私にとっては大変な財産です。

○指導員精古は簡単に参加できるものではないですからね。

○すごく難しい事だと思います。

○今までは四谷の思い出ですが水道橋の思い出をお教えたいただけますか？

○水道橋時代は三段を受験のため私の空手人生のため最も激しく組手をした時でした。当時の指導員の先生は大石先生、田畑先生、矢野先生でした。矢野先生は私の一番のライバルです。

○矢野先生に関してはこんな思い出があります。

○南アフリカから水道橋に来たときお土産を持ってきました。そして、中山先生をはじめとする先生方にお渡ししました。そして矢野先生に持っていくとこちらも見ずに「ノー、スタンいらない」と。私は非常に心配になりました。

○指導員精古の時、矢野先生と一本組手でありました。お互いに一本で止めずにもつれ、ドアを破って外まで行って、多くの先生に「止めろ」と引き離されたことがあります。私にとって矢野先生は非常にいいライバルです。私は今でもそのことを感謝しています。

○そんなことがあったのですか。

○またこんなことがありました。大石先生は今まで私が見てきた中で最もスピードのある空

手家ですが、大石先生と追い込みの精古をいつも20分くらいしていました。

○あるとき汗で床が滑りやすくなり、追い込みをしていました。その時、大石先生が「スタン、床が汗で川のように滑る。一緒に泳ごう。」と冗談を言われたのを覚えています。（笑）

○田畑先生の思い出はありますか？

○田畑先生は私にとって兄弟のような人です。一緒に精古し、またよくお酒も一緒に飲みました。様々なことを教わりました。すばらしい人でした。

○三段を受験したときのことを教えてくださいませんか？

○1966年に日本に渡り、中山先生に三段を受けなさいと言われました。段審査当日初段、二段合わせて200名ほど受けにきていました。初段、二段ともハイレベルで少し不安になりました。三段の審査になり、受験者のなかで、非常に差し障りの上手な人がいて、対戦者全員に差し障りを決めていました。最初にその人に対戦しました。上段の蹴りを何とか捌き、刻み突きを決めることが出来ました。その後は順調に行ったのですが五人目に田畑先生と対戦しました。

○昔は五人と組手だったのですか。それでどうなったのですか？

○田畑先生のと、足払いを仕掛けると逆に、足払いで返され一本を奪われてしまいました。しかし三段は無事合格しました。三段の証書をいただくとき、一大イベントがありました。審査の後、NHKのクイズ番組に出ることになりました。この人は何をやってるのでしょうか？と、私が何をやっているかクイズになるわけです。司会者とか銀行員とか解答者が答えるわけをやっていました。」と柔道？違う。空手でしょ

う？で正解となるわけです。そして、その場で三段の証書をいただきました。観客も大歓声です。とてもよい気分でした。

○NHKの番組で証書をいただくなんてすごいですか。

○スタン先生、今まで日本での思い出にお答えいただけてきたわけですが、南アフリカの空手の歴史、また現状などを教えていただけますか？また南アフリカの空手家はハードも強く、技術、礼儀もしっかりしていると思うのですが、特にスタン先生が注意して指導されていることはありますか？

○本当ですか？ありがとうございます。まず歴史についてお話ししたいと思います。最初はヨハネスブルグを中心に櫻枝先生に来ていただき指導していただきました。櫻枝先生には自宅に宿泊していただきました。櫻枝先生と一緒に生活することで精神的なことも大変勉強になりました。そして加瀬先生、中山先生に来ていただくことが出来たのです。中山先生は「人格完成に努めること」という言葉を体現された素晴らしい先生でした。私は日本で大会がある一月前に訪日日本で集中的に激しく精古してました。庄司先生の精古に出ると逆突全員、終わると反対、次に前蹴り全員、回し蹴り全員と大変な数精古でした。本場にきつい精古でした。そして私は南アに戻ったとき、私は日本と同様に指導、精古しました。私は精古とは常にそういうものだと思います。精古は日本と同じように激しいものだ。

○しかし、（大会前と違うとき）に来日したとき、精古は少しリラクセスしたものでした。その時初めて精古は時には厳しく、時にはリラックスと変化をつけることが重要だと知りました。精古もバランスが大事だと思います。

○船と裸ですね。

○本部の指導員精古に参加させていただいたおかげで様々な世代の指導員の先生から影響を受けました。すべての先生が卓越した考え、技術を持っていました。わたしは大変ラッキーだともいえます。

○南アフリカの組織はトントン拍子で大きくなったのですか？

○最初の数年はわたしの道場で精古しました。そして仲間の一人が近くで道場を開くことになりました。彼にはOKと答えたのですが少し不安があったのは事実です。と言うのはわたしの道場から8キロメートルしか離れていませんでしたから、しかしそれは杞憂に終わりました。

○新しく空手を始めたメンバーも今まで精古していたメンバーもわたしの道場に集まって精古をするようになったのです。自然とわたしの道場が本部の役割を果たすようになりました。朝メンバーが集まって精古するのでアーリーバード（早起き鳥）と言うニックネームがつけました。またあと一つニックネームがつけました。ホーネット（蜂の巣）というものです。蜂は果敢攻撃されると逆反撃しますよね。そういう意味でニックネームがつけました。日本の総本部の指導員の先生たちは強いんですね。南アフリカもそうでなくてならない。皆一体とならなくては。

○わたしはいつも南アフリカのメンバーに話をします。「田中先生はこうだった。中先生はこうだ。大隈先生は四段だけどきみは五段だろ、もつとがんばれよ。」つねにメンバーと会話し、鼓舞するのです。

○そうすることによってお互い尊敬するわけですか。

○そう思います。尊敬、信頼することが第一です。そして、良い指導者がいれば、権限を与え、級審査等できるようにし、組織的にも運営出来るようにしてあげるので。そうやっ

て彼らに力を与える事によって彼ら自身も力をつけていけるのです。そして組織的にも強くなるのです。

○お互いに信頼があつてこそできる事ですね。

S—そう思います。組織とは大きな船だと思つて、リーダーが明確に目標を設定し、会員が心を合わせて舟をこぐ。もしかしたらアンカーを下ろして妨害しているものもあるかもしれません。だからこそお互いを信頼する事は非常に重要です。南アフリカでは朝の稽古でヨハネスブルグの総本部道場に集まり、午後は各自の持ち場に戻る。朝一緒に稽古をする事で連帯感も生まれます。以前は最大1万人まで会員がいました。しかしアパルトヘイト解放後、国内は治安が悪化し5000人ほどになってしまいました。しかし現在は幾分持ち直し7000人、8000人になって来ました。道場は現在150、170ほど道場があります。

N—それはすごいですね。

○会員が一致団結して稽古しているんですね。

S—はい。そしてすべての会員が日本に来て学びたいと思つています。しかし、国内の経済、治安事情からあきらめていられるのです。しかし、日本に来たい、学びたい、総本部道場で稽古をしたいと言う強い希望を保持しています。

○今、南アフリカは大変な状況ですね。

S—以前1ランド(南アフリカ通貨)500円でした。しかし今は16円です。

N—そんなに下がってしまったんですね。

S—そうなんです。南アフリカにいる分には問題ないのですが、日本に来ると大変です。以前には田中先生をはじめ総本部の先生に来ていただけましたが、今は4、5年積み立てをしないと出来ません。

○今は円高ですからね。

S—世界は急激に変化しています。南アフリカ

も急激に変化しました。変化を予測するのは非常に難しい事です。

○オースタン先生は海外をいろいろ回られていると思います。そんな中で空手界の現状等、現在感じている事があれば教えてください。

S—良い面もあれば悪い面もあります。まず難しい面は空手のスポーツ的な側面です。WKF等の団体が力を持ち始めています。そして日本空手協会、JKA南アフリカを必要ない、加盟も必要ないと考える人が出てきています。しかしそれは空手を単なるスポーツと考えている人たちです。わたしはそれは間違つた考え方だと思います。そしてそういった団体が簡単に段を発行します。営利優先な段をです。わたしの南アフリカの生徒ですが全合派の八段です。彼自身は非常に良い男ですがまだ若いのです。彼らの先輩を飛び越えて八段をもらつてしまった事は、南アフリカJKAのバランスを崩しかねない事です。この事は非常に大きな問題です。しかし、多くの会員、95%は協会の空手をする事を望んでいます。WKF等を望んでいるのは5%ぐらいでしょう。なぜなら道場にすばらしい師範がいるからです。会員が空手の道場に来るのは道場の師範についていっている部分がとても大きいのです。ですから道場の指導員を育てる、支える事が非常に重要です。JKAはそういった道場の指導員を育てていく事が空手の将来にとって非常に大事な事です。フランスなどの国はスポーツから手が力を持っています。しかしスポーツ空手の面だけでは空手は駄目になってしまふのです。

N—最後には武道が求められるのでしょうか。

○空手協会は道場の指導員を育成する事が大事であると先生は考えられるわけですね。

S—道場の指導員を鍛える事です。そして道場のニーズに答えていくことです。又、地域の

状況を理解する事です。船越先生の頃は棒などであつた武器も今では銃、ナイフなど変化しています。私達は船越先生の頃の護身術を学び、今の銃犯罪に対抗するものを研究していかなければなりません。それは地域、国が変われば変化するものだと思います。基本、形、組手は同じだと思つています。護身術は状況に合わせて。そのようにしていけば会員は増えると思つています。

また道場の指導員は魅力的でなければなりません。指導員のイメージは道場のイメージとなり、協会のイメージとなるのです。この事は非常に重要な事です。イメージと言えば日本では野球が非常にさかんです。誰もが巨人のマークを見れば「あ、競売ジャイアンツだ」とわかります。JKAのシンボルマークは非常にすばらしいのですが、一目でJKAだとわかるシンボルが必要で、空手をやってない人でもわかるような協会のイメージ・シンボル・スローガンがあればよいと思つています。たとえばナイキの「Just Do It」などでしょうか。

N—今度、英語版のスローガンをつくつたんです。

S—それはいいですね。どんなスローガンですか？

○「Karate of the Highest Tradition of Karate. (空手道の至高の伝統の守護者)」というものです。英語版のホームページを作つていまして、それに乗せる事になります。

S—それはすばらしいと思つています。最後に日本空手協会はフレンドリーで、紳士的でなければならぬと思つています。空手を行うものは究極の紳士でなければならぬと思つています。

N、O—本日はお疲れの中ありがとうございました。インタビュに協力していただいた佐伯 寛先生(カナダ)ありがとうございました。

関東学生春季リーグ戦

平成16年5月1日 白山、東洋大学体育館 主催 関東学生連合

去る5月1日(日) 白山、東洋大学体育館にて社団法人日本空手協会、関東学生定期春季リーグ戦が開催された。当日は日本空手協会に所属する関東の大学1校が集まり、男子3部、女子2部には別れ懸当りの熱戦を繰り広げた。また、午後には各校から2名代表選手が出場し個人戦が行われた。男子1部リーグには学連の東日本大会の勝者、国士館大学がその勢いに乗ってリーグ戦を制するのか?それとも駒澤大学、大正大学がその実力を発揮するのか注目された。結果は以下の通り。



▲男子1部リーグ優勝の駒沢大学

【大会結果】

- 男子1部リーグ
 - 優勝 駒澤大学
 - 準優勝 国士館大学
 - 三位 大正大学
- 2部リーグ
 - 優勝 関東学院大学
 - 準優勝 青山学院大学
 - 三位 東京理科大学
- 3部リーグ
 - 優勝 筑波大学
 - 準優勝 亜細亜大学
 - 三位 東京電機大学1部
- 女子1部リーグ
 - 優勝 大正大学
 - 準優勝 駒澤大学
 - 三位 国士館大学
- 2部リーグ
 - 優勝 日大農獣医学部
 - 準優勝 筑波大学医学部
 - 三位 防衛大学校
- 個人戦男子
 - 優勝 野口晋司(駒沢大)
 - 準優勝 緒貫慎太郎(千葉工大)
 - 三位 久喜伸晃(日大農獣医)
- 個人戦女子
 - 優勝 岡野愛理(大正大)
 - 準優勝 井出佳寿美(駒沢大)
 - 三位 岡島洋恵(青学大)



▲1部リーグの好試合、駒大農獣医国士館大横山

- 優秀選手
 - 四位智之(駒大)
 - 下山勇志(国士館大)
 - 佐藤廣裕(大正大)
- 女子
 - 水野庸子(駒大)
 - 早川陽菜(大正大)
 - 新山恵里波(国士館大)

三菱武道会の新道場、
恩斎館(しせいかん)道場の
落成記念式典

梅雨來の日が続いた中、珍しく快晴の夏日となった平成15年7月12日(土)に三菱グループの主要企業で組織される三菱武道会の新道場、恩斎館(しせいかん)道場の落成記念式典が執り行われました。

新道場は三菱グループの創始者でもある岩崎家所縁の地、巣鴨の三菱養和会スポーツクラブが所有する広大なグラウンドの一角に建てられ、地上二階建て一階は空手、剣道、居合、杖道の各部が共有、二階は柔道、合気道が共有、中二階には弓道場も有する総合武道場であり、三菱グループに所属する社会人を中心に日夜勤めの傍ら武道の稽古に励んでおります。

「恩斎」の名は論語の「見賢思齊」、賢を見ては斉(ひと)しからんことを思う、つまり良い事をしている人を見たら見習う、の意から引用されています。

武道会の中では剣道部に次ぐ会員数を誇る三菱空手道部は、日本空手協会の直轄団体でもあり、昭和47年、丸の内東京ビル9階に丸の内道場(東京ビル解体に伴い本年3月末に閉鎖)が開場された際には、故中山正敏首席師範を御招きし演武をご披露頂いております。

正に30年に1度の節目となる新道場の落成式典には、今般日本空手協会より中原会長、杉浦初久二首席師範、植木政明専務理事、田中昌彦常任理事、大坂可治理事兼三菱空手道部首席師範の、言わば協会最高首脳部を来賓として御招きし、総本部より小倉師範、中師範、谷山師範にお出で願ひ演武をご披露頂きました。

空手道部の演武は落成記念式典の締め括りとして、各武道部演武の最後に執り行われ、三菱

武道会、竹田会長(元東京海上火災会長)、又新道場の設立に奔走された三菱商事横原会長ら三菱主要企業の幹部諸氏が見守る中、先ず谷山師範に依る四方割、小倉師範、中師範に依る捕り、再び谷山師範の本年度協会全国大会形優勝に輝いた「壮鎮」が夫々演武され、その技のスピード、俊敏・的確且つ躍動感に溢れる力強さに肩並ぶ来賓諸氏より驚嘆の声が上がりました。

総本部師範に依る演武終了後、三菱空手道部員一同の演武、まず男子有段者5人が夫々瓦10枚を正拳、猿背、手刀、掌底、額にて試制をし、その後女子部有段者に依る「慈恩」、男子部有段者に依る「拔塞大」の形演武 を行いました。

特に瓦10枚の試制では気合いと共に瞬時ガラガラと音を立て崩れ落ちる瓦に拍手喝采を浴びました。

三菱武道会の中核を為す三菱空手道部では大坂師範のご指導の元、高橋和夫空手道部長以下部員一同、今後共新道場にて日本空手協会直轄支部の名に恥じない稽古、精進をし続けて参る所存です。

ドイツ大使館主宰
武道演武会

日時：7月13日(日) 15:00
場所：ドイツ大使館
参加者：剣道、柔道、居合道、なぎなた、空手道
演武者

川和田、産方、新垣、飯塚
川和田、飯塚 立捕り
産方 観空大
新垣 雲手

去る7月13日(日)ドイツ大使館にて大使館主催
武道演武会が開催された。

この演武会は本部の会員で大使館員のターニャ・アイマールさんの送別会も兼ねて行われたもので大使の招待により剣道、柔道、居合道、なぎなた、そして空手道の演武が行われた。総本部からは川和田、新垣、産方指導員、飯塚研修生が演武した。

ターニャさんは赴任先のルーマニアに旅立られますが、ぜひ再度来日し、空手道をはじめ武道の研鑽に努めたいと話していた。

▼大使の挨拶の後、演武に入る
川和田実指導員、飯塚研修生による立捕りの演武



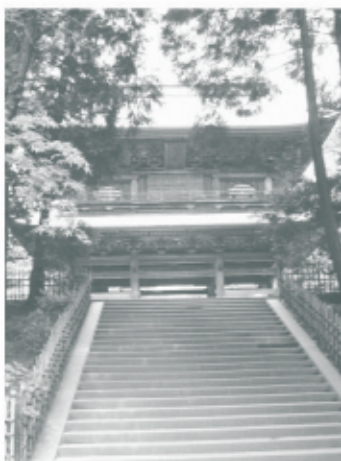
▲大使官邸にて記念撮影、
右から前列4番目がターニャ・アイマールさん

松壽祭
 日時：4月28日 緑の日 13:00
 場所：鎌倉 円覚寺

4月29日 緑の日に、松壽館空手道の始祖、船越義珍先生を偲ぶ松壽祭が鎌倉、円覚寺にて行われた。



▲当日は船越先生を偲ぶ多くの人が列席した



◀北鎌倉の名刹円覚寺

◀円覚寺、彌仏堂の横に船越先生の墓がある

**故榎枝慶之輔
 英国主任師範合同葬**

日時：4月12日(土)
 場所：四谷 宝蔵寺

喪主：榎枝家、社団法人日本空手協会、拓空会
 去る4月12日(土)四谷、宝蔵寺にて、故榎枝慶之輔英国主任師範の合同葬がしめやかに執り行われました。合同葬には国内外から、水年英国のみならず欧州全域への空手の普及・指導にご尽力された氏を偲ぶ人々が大勢参列されました。



▲榎枝慶之輔 英国主任師範

氏の功績を
 偲び謹んで
 ご冥福をお
 祈りいたし
 ます。

▼国内外から多くの
 人々が参列した



**故田畑祐吉先生の
 告別式が開催される**

平成15年3月7日、突然ご逝去された(社)日本空手協会理事であり、九州地区本部長である故田畑祐吉先生の告別式が九州地区本部主催のもとしめやかに行なわれました。田畑先生の人柄を偲び北は北海道から、南は沖縄、さらには遠く外国からも大変多くのご会葬者が出席され、

別れを惜しむと共に心からご冥福を祈られました。

先生は、昭和16年6月22日にお生まれになり、高校卒業と同時に拓殖大学に入学、昭和39年3月に同大学を卒業されました。昭和40年9月(社)日本空手協会研修所に入所され、42年指導員資格を取得されました。以後、地元の熊本・九州はもとより遠くメキシコ・台湾において協会指導員として、卓越した技量・並はずれた情熱を持って指導にあたり、空手道の普及発展に多大の貢献をされました。又昭和51年、釧路の(株)アサヒ産業代表取締役就任されると、企業経営者としても、実力を十分に発揮され、同社の今日の繁栄の基礎を築きました。

このように、人格識見ともに並みはずれた先生の突然のご他界は、空手道界はもとより、関係する多くの人々にとって、なにもものにも変えがたい財産をなくした感があります。しかしながら、あとに残された者として、これまで九州の空手道の充実と隆盛を二人三脚で田畑先生と共に築いてこられた坂井龍介先生を中心に役員・会員が一致団結して、更に飛躍発展させることが、故田畑先生の意志に報いるものと確信しております。

なお、告別式の最後に九州地区本部副会長の緒方國臣先生が3本の受け突きをされましたが、その気遣はまさに空手道の神髄であると、参加者の皆様すべてが感じられるとともに、心を新たにされたと思えます。



告別式が終わっても、ほとんどの人達が故田畑先生との思い出話に名残を惜しみ、去りたい気持ちであったようでした。心からご冥福をお祈りいたします。

**「故菅野淳先生を偲ぶ会」
 が開催されました**



昨年2月4日に永眠されました故菅野淳先生(日本空手協会前副会長・兵庫県本部前会長)を偲ぶ会を一周忌にあたり2月2日(日)神戸生田神社会館にて執り行ないました。

当日は遠方より故人を偲び植木専務理事をはじめ空手会各界から多数ご参集頂き160名の参加を得ることができました。出席された方々から追悼のことばがあり、一生涯空手を敬愛された故人の思いで話ができ、盛会裏に終えることができました。

菅野先生は終戦間もない昭和23年8月に法政大学在学中に精神の折、神戸中山手自宅の庭にて高校生に空手の基本技を指導され希望者の増加により、神戸各地に練習場を開かれました。

昭和29年には、故中山正敏先生が来神され、船越義珍先生を中心に結成された、日本空手協会への加盟を勧められ、その高邁なる理想に感銘し兵庫県本部として発足致し以後県下各地に支部、分会を設置されるにいたりました。

その後、世界選抜空手道大会の開催、神戸市姉妹都市シアトル訪問親善使節団空手道団長・著書「空手ダイジェスト」の発刊等々、空手道の普及・発展にご尽力されました。まだまだご指導を仰がなければならぬ所でありましたのに大変残念でなりません。

今後我々は故人の遺志を継ぎ、空手道の発展のため邁進致す所存で御座いますので、引き続き宜しくご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

海外レポート 海外青年協力隊での空手指導を終えて



チュニジア共和国
大隈祥弘



私は青年海外協力隊員として空手道指導を北アフリカにあるチュニジア共和国で行いました。私自身それほど使命感に燃えて参加したわけではありませんでした。とにかく異文化の中でどれほどの仕事ができるか、どれほどの経験ができるかそれを試してみたかったです。言わなければ相手より自分自身に興味があったといえます。しかし、国際協力事業団が決定する派遣前の研修先がなんと日本空手協会総本部でしたし、派遣されてからの任地の私に対する期待も相当高いものだったのが、私の目を覚まさせるには十分でした。総本部の先生方には週三回の稽古を半年間つけていただきました。その半年間は決して楽しいものではありませんでした。

と云いますと語弊があるかもしれませんが、それほど海外で指導する事になる私に厳しく責任感を持って教えていただいたのではと思っております。そして現地の期待は武術、武道の国、日本から来た空手道の指導者ということで相当加熟していただきました。私はそういった周りととの関係の中で2年間を過ごしたわけですが、今までこれほどの重圧の中で仕事をした経験があるわけが無く、一日一日を消化するだけで精一杯でした。そのような2年間を過ごしたのですが、日本人の武道や武術に対する感覚と海外におけるそれとは根本的な違いがある事に気が付きました。日本では空手道を含め武道が試合重視になつて来ているものの、「武道は精神修行である」とか、「武の道志す者ならば礼節をわき

まえるべき」というような概念が在るのは当然でしょう。しかし、海外にはそういう概念がないと感じました。無論彼等も日本の武道がその様な精神面で厳しいのは情報として知ってはいます。しかし伝統的に永い時間をかけて培われた価値観ではないので本気で考えている人間は少ないようです。試合をするために学んだ技術がどれほど危険なものかという事を認識していないような気がします。日本ではそういった武道全般に在る倫理的、哲学的な部分と、それ自体の技術というものは相反するものでなく一致するものである事は感覚的にわかって、海外では「そういった倫理面は建前にはすぎない」としか思われない風潮があるようです。2年間、後もう少しそれらの関連性を教えて上げられれば良かったと感じられる現在です。



ラオス人民共和国
佐藤由香里



道場があること、道着があることは当たり前だと思っていた。ラオスの自然や大地から遠ざかって早5ヶ月が過ぎようとしている。2年1ヶ月ぶりの日本で先生や先輩、友人や後輩との再会に感慨深い思いをしたことは言うまでもない。

協力隊員になるためJICAから派遣されたのは、6ヶ月間の補充研修。そこには偶然にも、同じ志を持った協力隊候補生がいた。大隈祥弘さんだ。6ヶ月間よくもわるくも本当にお世話

になり、あの研修を続けられたのは彼のお陰でもある。週に2回型と基本を中心とした研修であったのだが、正直型に苦しむ意識のあった私にとっては、非常に貴重な指導を受けたことになる。活動中にどれだけその研修内容が役立つのか、計り知れない。改めて個別指導でお世話になった小倉先生・井村先生・椎名先生・中先生・谷山先生に感謝の意を伝えたい。研修期間の毎日は、もうじき訪れるラオスで空手を指導する自分を空想しながら金銭的余裕のない私は、バイト先と道場と家の往復であったが、いつも空手のことで頭がばんばん毎日だった。そうして、色々な方々からのアドバイスや情報、今まで身につけた知識と技術を持って想像もつかない国ラオスへ飛び立った。

西の空が深いピンク色に染まり始める頃、私は愛車のスズキバーアイ(50cc)に乗り、乾期には粉塵まみれ、雨期には赤土の泥を跳ねながら、3人乗りバイクを横目に道場へ向かう。小学生から大学生までの青少年を対象に週5日、とにかく休まず道場へ通い続けた。しかし、雨期には豪雨にやられ、決まって停電で稽古中止、道場がいきなりパーティ会場になっていてやむなく中止。日本では考えられない事態がよく起こり、よく混乱した。また、好き嫌いのない事が災いして、よく下痢もした。

今思うとアツという間の活動期間だったが、その内容は濃い。印象深い。かけがえのない経験。純粋に空手が好きだから上手になりたい、強くなりたいという声にこたえるために精一杯頑張れた自分と不甲斐なき、未熟さを身にしみて感じた自分。いろんな自分がみえた2年間。空手隊員としての活動は終了したが、これからラオス空手の発展に協力し続けていきたい。最後に、私の無理勝手にお願いに快くご協力して頂きました先生方、先輩方、多くの皆様には紙面をお借りして心よりお礼申し上げます。皆様本当にありがとうございます。

空手衣のヒロタ

www.karategi-hirota.co.jp



日本空手協会指定
準サポーター

● 本社：
〒144-0052
東京都大田区
蒲田5-33-6NSビル1F
Tel: 03-3730-5366
Fax: 03-3730-5336
e-mail: tokyo@karategi-hirota.co.jp

● 福岡支店：
〒812-0018
福岡県福岡市博多区
住吉4-2-15
Tel: 092-475-1810
Fax: 092-475-1817
e-mail: fukuoka@karategi-hirota.co.jp

● 愛知工場：
〒445-0802
愛知県西尾市米津町
蓮台16-3
Tel: 0563-54-3600
Fax: 0563-54-5822



Table of results for the 54th Mie Prefecture Karate Championship (March 21, 2003). It lists categories like '小学低学年' (Elementary School Lower Grades) and '小学高学年' (Elementary School Upper Grades), with winners and runners-up from various prefectures.

平成15年5月18日 三重県空手道連盟第一道場第29回 千葉県空手道選手権大会

Table of results for the 29th Chiba Prefecture Karate Championship (May 18, 2003). Categories include '小学1・2年' (Elementary School 1-2 years) and '小学3・4年' (Elementary School 3-4 years).

大会熱戦記録

Table of results for the 29th Chiba Prefecture Karate Championship (continued). Categories include '小学5・6年' (Elementary School 5-6 years) and '中学生' (Middle School).

Table of results for the 29th Chiba Prefecture Karate Championship (continued). Categories include '中学生' (Middle School) and '高校' (High School).

Table of results for the 29th Chiba Prefecture Karate Championship (continued). Categories include '高校' (High School) and '大学' (University).

Table of results for the 29th Chiba Prefecture Karate Championship (continued). Categories include '形' (Form) and '組手' (Sparring).

用道具

Table of results for the 29th Chiba Prefecture Karate Championship (continued). Categories include '形' (Form) and '組手' (Sparring).

平成15年5月18日 三重県空手道連盟第一道場第29回 千葉県空手道選手権大会

Table of results for the 29th Chiba Prefecture Karate Championship (continued). Categories include '小学1・2年' (Elementary School 1-2 years) and '小学3・4年' (Elementary School 3-4 years).

用道具

Table of results for the 29th Chiba Prefecture Karate Championship (continued). Categories include '小学5・6年' (Elementary School 5-6 years) and '中学生' (Middle School).

- 松本可渡 敗闘賞 長谷川淳也
- 成沢健 敗闘賞 吉田将大
- 中1女子 大川紗由里
- 中1女子 古宮衣織
- 中1女子 加納杜希子
- 中1女子 石橋いずみ
- 中1女子 寺田愛美
- 中1女子 宮崎有
- 中1女子 宮水ロリーン
- 中1男子 尾崎 功
- 中1男子 安藤真司
- 中1男子 長谷川峻士
- 中1男子 山部貴右
- 中1男子 大賀敏介
- 中1男子 伊藤卓平
- 中1男子 武元大和
- 中1男子 秋元圭介
- 中2女子 宮本真依美
- 中2女子 竹之内麻帆子
- 中2女子 布達沙也加
- 中2女子 海保千住
- 中2女子 瀧明日香
- 中2女子 深川沙由里
- 中2女子 高品聖野
- 中2男子 深山勇輝
- 中2男子 北井健雄
- 中2男子 宮本真
- 中2男子 五十嵐匠吾
- 中2男子 土屋成生
- 中2男子 外間政貴
- 中2男子 里平人
- 中2男子 吉原雄太
- 中3男子 茂木千明
- 中3男子 白井一輝
- 中3男子 松谷大輝
- 中3男子 飯島基成
- 中3男子 菅原元太郎
- 中3男子 栃久保龍之介
- 中3男子 中村健貴
- 中3男子 徳野真規
- 中3男子 平川 剛
- 中3男子 土屋敦剛
- 中3男子 竹内汰祐
- 中3男子 岩川雄樹
- 中3男子 今岡洋和
- 中3男子 飯島聖人
- 中3男子 一般女子
- 中3男子 大柳 恵
- 中3男子 椎名 篤
- 中3男子 平めぐみ
- 中3男子 根本理紗
- 中3男子 竹内麻衣
- 中3男子 徳野友空
- 中3男子 飯島 悠
- 中3男子 内藤五月
- 一般男子 産方弘二
- 一般男子 大石道英
- 一般男子 上山道憲
- 一般男子 八十四篤
- 一般男子 浦真慎太郎

平成15年7月6日 盛岡市アイスアリーナ 第32回 東北地区空手道選手権大会

- 敗闘賞 根本敬介
- 敗闘賞 高瀬俊一
- 敗闘賞 高久亜友実
- 敗闘賞 一般団体
- 敗闘賞 千葉崇明
- 敗闘賞 千葉経済A
- 敗闘賞 千葉経済B
- 敗闘賞 千葉工業大学
- 敗闘賞 日本空港サービスA
- 敗闘賞 花見川支部
- 敗闘賞 千葉支部
- 敗闘賞 野田支部
- 敗闘賞 日本空港サービスB
- 敗闘賞 日本空港サービスB
- 第32回東北地区空手道選手権大会は、平成15年7月6日(日)岩手県本郡主計で岩手県盛岡市の岩手山の郷野に盛岡市制百周年記念事業として平成元年に多目的施設として建てられた盛岡市アイスアリーナで、各地区から選抜された約六百人の選手が参加して盛大に開催された。
- 盛岡市は、北上平野の北部に位置する人口約30万人の県都で、江戸時代は南部藩の城下町であった。南部藩藩、南部せんべい、わんこそばや新渡戸彌造、金田一京助などの出身地でも知られている。
- 大会運営は、岩手県本部の各支部父母や岩手県立大学空手道部、そして盛岡コンベンションビニールの協力的にもスムーズに行われた。
- 大会当日は、梅雨の晴れ間となり、初夏を思わせる中での熱戦となった。来年は、青森県での開催となる。
- 小学6年男子 1位 村上力(岩手)
- 小学6年男子 2位 小川謙(岩手)
- 小学6年男子 3位 斎藤力耶(山形)
- 小学6年女子 1位 遠藤未佳(宮城)
- 小学6年女子 2位 嶋屋沙希(青森)
- 小学6年女子 3位 新開清夏(青森)
- 小学1年男子 1位 中村 洸(青森)
- 小学1年男子 2位 阿部裕介(青森)
- 小学1年男子 3位 吉澤紗希(青森)
- 小学1年女子 1位 基西由里加(青森)
- 小学1年女子 2位 封崎由乃(青森)
- 小学1年女子 3位 高橋 怜(宮城)
- 小学2年男子 1位 成澤有美(宮城)
- 小学2年男子 2位 佐々木智也(青森)
- 小学2年男子 3位 工藤正太(青森)
- 小学2年男子 4位 青藤良太(宮城)
- 小学2年女子 1位 遠藤伸幸(宮城)
- 小学2年女子 2位 佐々木智也(青森)
- 小学2年女子 3位 工藤正太(青森)
- 小学2年女子 4位 青藤良太(宮城)
- 小学3年男子 1位 上村尊太(宮城)
- 小学3年男子 2位 阿部俊介(宮城)
- 小学3年男子 3位 工藤正太(青森)
- 小学3年男子 4位 渡瀬大輔(山形)
- 小学3年女子 1位 基西美由紀(青森)
- 小学3年女子 2位 長谷川奈々(山形)
- 小学3年女子 3位 安藤千尋(福島)
- 小学3年女子 4位 本田 京(秋田)
- 小学4年男子 1位 豊川 誠(福島)
- 小学4年男子 2位 山田芳隆(宮城)
- 小学4年男子 3位 渡野剛太(宮城)
- 小学4年男子 4位 戸田拓社(秋田)
- 小学4年女子 1位 田口夢子(宮城)
- 小学4年女子 2位 木村彩矢香(宮城)
- 小学4年女子 3位 大石彩乃(山形)
- 小学4年女子 4位 本岡花梨(山形)
- 小学5年男子 1位 平塚 駿(宮城)
- 小学5年男子 2位 今野裕登(宮城)
- 小学5年男子 3位 安部達星(宮城)
- 小学5年男子 4位 水本洋介(岩手)
- 小学5年女子 1位 大石栞奈(宮城)
- 小学5年女子 2位 石川麻実(宮城)
- 小学5年女子 3位 石川莉佳(宮城)
- 小学5年女子 4位 成澤 舞(宮城)
- 小学6年男子 1位 鈴木元太(青森)
- 小学6年男子 2位 古川尚人(青森)
- 小学6年男子 3位 里村 龍(青森)
- 小学6年男子 4位 渡辺裕也(宮城)
- 小学6年女子 1位 阿部千玲(宮城)
- 小学6年女子 2位 金戸夕子(宮城)
- 小学6年女子 3位 鎌田 歩(宮城)
- 小学6年女子 4位 高橋愛華(宮城)

- 小学6年男子 1位 村上力(岩手)
- 小学6年男子 2位 小川謙(岩手)
- 小学6年男子 3位 斎藤力耶(山形)
- 小学6年女子 1位 遠藤未佳(宮城)
- 小学6年女子 2位 嶋屋沙希(青森)
- 小学6年女子 3位 新開清夏(青森)
- 小学1年男子 1位 中村 洸(青森)
- 小学1年男子 2位 阿部裕介(青森)
- 小学1年男子 3位 吉澤紗希(青森)
- 小学1年女子 1位 基西由里加(青森)
- 小学1年女子 2位 封崎由乃(青森)
- 小学1年女子 3位 高橋 怜(宮城)
- 小学2年男子 1位 成澤有美(宮城)
- 小学2年男子 2位 佐々木智也(青森)
- 小学2年男子 3位 工藤正太(青森)
- 小学2年男子 4位 青藤良太(宮城)
- 小学2年女子 1位 遠藤伸幸(宮城)
- 小学2年女子 2位 佐々木智也(青森)
- 小学2年女子 3位 工藤正太(青森)
- 小学2年女子 4位 青藤良太(宮城)
- 小学3年男子 1位 上村尊太(宮城)
- 小学3年男子 2位 阿部俊介(宮城)
- 小学3年男子 3位 工藤正太(青森)
- 小学3年男子 4位 渡瀬大輔(山形)
- 小学3年女子 1位 基西美由紀(青森)
- 小学3年女子 2位 長谷川奈々(山形)
- 小学3年女子 3位 安藤千尋(福島)
- 小学3年女子 4位 本田 京(秋田)
- 小学4年男子 1位 豊川 誠(福島)
- 小学4年男子 2位 山田芳隆(宮城)
- 小学4年男子 3位 渡野剛太(宮城)
- 小学4年男子 4位 戸田拓社(秋田)
- 小学4年女子 1位 田口夢子(宮城)
- 小学4年女子 2位 木村彩矢香(宮城)
- 小学4年女子 3位 大石彩乃(山形)
- 小学4年女子 4位 本岡花梨(山形)
- 小学5年男子 1位 平塚 駿(宮城)
- 小学5年男子 2位 今野裕登(宮城)
- 小学5年男子 3位 安部達星(宮城)
- 小学5年男子 4位 水本洋介(岩手)
- 小学5年女子 1位 大石栞奈(宮城)
- 小学5年女子 2位 石川麻実(宮城)
- 小学5年女子 3位 石川莉佳(宮城)
- 小学5年女子 4位 成澤 舞(宮城)
- 小学6年男子 1位 鈴木元太(青森)
- 小学6年男子 2位 古川尚人(青森)
- 小学6年男子 3位 里村 龍(青森)
- 小学6年男子 4位 渡辺裕也(宮城)
- 小学6年女子 1位 阿部千玲(宮城)
- 小学6年女子 2位 金戸夕子(宮城)
- 小学6年女子 3位 鎌田 歩(宮城)
- 小学6年女子 4位 高橋愛華(宮城)

- 小学3年女子 1位 上野真生(山形)
- 小学3年女子 2位 本岡花梨(山形)
- 小学3年女子 3位 本多希生(秋田)
- 小学4年男子 1位 今野裕登(宮城)
- 小学4年男子 2位 松山良平(青森)
- 小学4年男子 3位 工藤正太(青森)
- 小学4年男子 4位 工藤正太(青森)
- 小学4年女子 1位 谷崎愛美(岩手)
- 小学4年女子 2位 石川麻実(宮城)
- 小学4年女子 3位 佐藤里奈(山形)
- 小学5年男子 1位 古川尚人(青森)
- 小学5年男子 2位 本岡花梨(山形)
- 小学5年男子 3位 五十嵐良央(山形)
- 小学5年女子 1位 高橋愛華(宮城)
- 小学5年女子 2位 青藤良太(宮城)
- 小学5年女子 3位 小島瑞穂(宮城)
- 小学6年男子 1位 村上力(岩手)
- 小学6年男子 2位 小川謙(岩手)
- 小学6年男子 3位 斎藤力耶(山形)
- 小学6年女子 1位 遠藤未佳(宮城)
- 小学6年女子 2位 嶋屋沙希(青森)
- 小学6年女子 3位 新開清夏(青森)
- 小学1年男子 1位 中村 洸(青森)
- 小学1年男子 2位 阿部裕介(青森)
- 小学1年男子 3位 吉澤紗希(青森)
- 小学1年女子 1位 基西由里加(青森)
- 小学1年女子 2位 封崎由乃(青森)
- 小学1年女子 3位 高橋 怜(宮城)
- 小学2年男子 1位 成澤有美(宮城)
- 小学2年男子 2位 佐々木智也(青森)
- 小学2年男子 3位 工藤正太(青森)
- 小学2年男子 4位 青藤良太(宮城)
- 小学2年女子 1位 遠藤伸幸(宮城)
- 小学2年女子 2位 佐々木智也(青森)
- 小学2年女子 3位 工藤正太(青森)
- 小学2年女子 4位 青藤良太(宮城)
- 小学3年男子 1位 上村尊太(宮城)
- 小学3年男子 2位 阿部俊介(宮城)
- 小学3年男子 3位 工藤正太(青森)
- 小学3年男子 4位 渡瀬大輔(山形)
- 小学3年女子 1位 基西美由紀(青森)
- 小学3年女子 2位 長谷川奈々(山形)
- 小学3年女子 3位 安藤千尋(福島)
- 小学3年女子 4位 本田 京(秋田)
- 小学4年男子 1位 豊川 誠(福島)
- 小学4年男子 2位 山田芳隆(宮城)
- 小学4年男子 3位 渡野剛太(宮城)
- 小学4年男子 4位 戸田拓社(秋田)
- 小学4年女子 1位 田口夢子(宮城)
- 小学4年女子 2位 木村彩矢香(宮城)
- 小学4年女子 3位 大石彩乃(山形)
- 小学4年女子 4位 本岡花梨(山形)
- 小学5年男子 1位 平塚 駿(宮城)
- 小学5年男子 2位 今野裕登(宮城)
- 小学5年男子 3位 安部達星(宮城)
- 小学5年男子 4位 水本洋介(岩手)
- 小学5年女子 1位 大石栞奈(宮城)
- 小学5年女子 2位 石川麻実(宮城)
- 小学5年女子 3位 石川莉佳(宮城)
- 小学5年女子 4位 成澤 舞(宮城)
- 小学6年男子 1位 鈴木元太(青森)
- 小学6年男子 2位 古川尚人(青森)
- 小学6年男子 3位 里村 龍(青森)
- 小学6年男子 4位 渡辺裕也(宮城)
- 小学6年女子 1位 阿部千玲(宮城)
- 小学6年女子 2位 金戸夕子(宮城)
- 小学6年女子 3位 鎌田 歩(宮城)
- 小学6年女子 4位 高橋愛華(宮城)

空手道に関する商品を 全国ネットでスピード配送致します。



株式会社 山 雅

T543-0014 大阪府天王寺区玉造元町17番14号 福川ビル
 TEL. (06) 6768-2340 (代)・FAX. (06) 6768-2351
 URL : http://www.yamaga-karatagi.com
 E-mail : info@yamaga-karatagi.com

9段		8段		7段	
榎茂廣之輔 (師範会)		夏井龍介 (師範会)		水野正法 (熊本)	岡官裕爾 (熊本)
田畑祐吉 (師範会)				栢井 給 (熊本)	小倉瑞典 (熊本)
6段					
MUHAMMAD AJ SAKATKADY (イラン)	MUHAMMAD KHAMMAMAD (イラン)	河野明正 (千葉)	広田大介 (富山)	植葉浩二 (熊本)	岩山幸也 (熊本)
SARHAN MAHMOU AL AGTA (イラン)	BAHES KHALIFA HENADER (イラン)	宮内正敏 (大分)	佐藤敏男 (北海道)	西村和安 (熊本)	吉田善作 (宮城)
JAMSHED JAMSHED (イラン)	AFSHIN AMIRALAZI (イラン)	平井豊明 (富山)	金木武夫 (千葉)	佐根光夫 (熊本)	大森圭司 (宮城)
MUHAMMAD TABATABAI RANI (イラン)	GELASSAM (イラン)	北宮水勇 (富山)	藤右近徳夫 (熊本)	半崎清雄 (熊本)	阿藤祐正 (長崎)
VAHD KHAJER HOSSINI (イラン)	太田崇信 (熊本)	額田秀直 (富山)	木村昌司 (熊本)	中 達也 (熊本)	川原 徹 (大分)
5段					
KEHRET JOACHIM (ドイツ)	TANCO EBOTUFAPA (南アフリカ)	水谷邦彦 (岐阜)	佐野利雄 (静岡)	野野政保 (群馬)	FRANK BRENNAN (イギリス)
KOENE RONALD RUIZ (南アフリカ)	STAYOS GOZGOLAS (南アフリカ)	伊藤正勝 (宮城)	若田佳孝 (静岡)	石橋 薫 (群馬)	JOSEPH DIXON (カナダ)
DEBBIE EVANS (南アフリカ)	MAUVIARD ALAIN (フランス)	大野広光 (福島)	桐原 昇 (静岡)	水谷大敬 (千葉)	WALTER CROCKFORD (カナダ)
TIMOTHY CHERTY (南アフリカ)	宮田賢司 (福島)	小川文弘 (青森)	鈴木義孝 (静岡)	SUYANA (インドネシア)	MARCEL LUSSIER (カナダ)
榎本水子 (東京)	尾方弘二 (熊本)	小林和夫 (青森)	加藤秀雄 (静岡)	安藤武男 (北海道)	CHARLES HOLNESS (U.S.A)
PATRICK ANDREWS (U.S.A)	沖永勝則 (福岡)	野呂利則 (青森)	石神喜久昌 (静岡)	布川喜一郎 (北海道)	DENISE ORLANDO (U.S.A)
ALTHEA YOUNG (ジャマイカ)	高久勝三郎 (茨城)	甘利聖史 (長野)	加藤勝之 (茨城)	小見山俊夫 (北海道)	SHAWN SAMPLE (U.S.A)
JOSE FERNANDEZ (メキシコ)	大木嘉徳 (東京)	三崎 清 (青森)	池水 智 (大分)	SEDRATI NOURDINE (フランス)	RICHARD CLARKE (U.S.A)
LESLIE STEVENS (南アフリカ)	瀬山孝一 (東京)	河森崇久 (静岡)	宮内正敏 (大分)	DOVARRE DENIS (フランス)	
GLENN ROBERTS (南アフリカ)	曾我栄一 (岐阜)	押連文彦 (静岡)	水沢 淳 (群馬)	LASZLO SCHNEIDER (ハンガリー)	
4段					
甘利千賀子 (長野)	時田トヨ子 (新潟)	鶴見英基 (静岡)	横口妙子 (福岡)	水沢 淳 (茨城)	藤原芳男 (青森)
矢野盛男 (長野)	大塚一利 (新潟)	上地玄幸 (東京)	赤池直彦 (岐阜)	野野政保 (群馬)	鶴川貴幸 (長野)
和光謙久 (長野)	井上勝之 (新潟)	飯島明石 (東京)	高津 寛 (北海道)	石橋 薫 (群馬)	中津義行 (長野)
柳沢 豊 (長野)	五十嵐智康 (新潟)	柴野憲宏 (東京)	佐藤英羽 (北海道)	水谷大敬 (千葉)	川原徹二 (大分)
榎本水子 (東京)	山崎三裕 (新潟)	竹澤美知 (東京)	曾我栄一 (岐阜)	神野貴大 (福岡)	西谷健裕 (千葉)
岡本紀一 (千葉)	高木 篤 (新潟)	山下和宏 (東京)	水谷邦彦 (岐阜)	白石 太 (福岡)	藤田勝尚 (千葉)
海蔵貴之 (千葉)	高木 智 (新潟)	金井恒司 (東京)	三崎 清 (青森)	小嶋昌之 (群馬)	
友部敏彦 (静岡)	安部 茂 (北海道)	小嶋 篤 (東京)	河森崇久 (静岡)	安藤武男 (北海道)	
菊山秀雄 (静岡)	加藤美和子 (青森)	大石勝美 (東京)	加藤秀雄 (静岡)	布川喜一郎 (北海道)	
岩崎亮太 (大分)	榎本拓也 (青森)	渡 勝二 (東京)	石神喜久昌 (静岡)	大津幸彦 (茨城)	
斎藤芳男 (新潟)	森川憲爾 (熊本)	廣田正一 (福岡)	加藤勝之 (茨城)	田寺克年 (茨城)	
3段					
小野 智 (神奈川)	大野敬住 (静岡)	福澤英康 (青森)	加藤勝之 (茨城)	平田孝男 (青森)	岩尾政男 (大分)
松本哲洋 (高松)	岡寛之進 (静岡)	飛内俊和 (青森)	水沢 淳 (群馬)	武田麻二 (青森)	宮内麻臣 (大分)
望月英生 (東京)	小塚圭司 (静岡)	川越秀保 (東京)	野野政保 (群馬)	吉田しのぶ (青森)	藤澤健仁 (大分)
香山裕志 (東京)	西尾和江 (静岡)	クリストファー・フーテン (大分)	石橋 薫 (群馬)	千葉茂臣 (青森)	上田信人 (三重)
木下崇美 (東京)	横松真平 (静岡)	廣方弘二 (熊本)	三浦大悟 (茨城)	山口枝理子 (青森)	小澤裕右 (東京)
小出 智 (長野)	鈴木道信 (静岡)	松尾哲二 (三重)	宮下剛志 (熊本)	工藤 真 (青森)	松野和彦 (北海道)
杉崎 茂 (千葉)	小澤祥司 (静岡)	矢部 崇 (千葉)	宇田川勉 (熊本)	藤原芳男 (青森)	板木真理子 (千葉)
宮田直彦 (静岡)	森田直基 (大分)	五島位孝 (千葉)	本多 哲 (宮城)	武田喜一 (長野)	中山比登美 (千葉)
小峰尚子 (静岡)	岩崎亮太 (大分)	千葉康太 (三重)	富岡 洋 (群馬)	春野社裕 (長野)	澤田貞子 (千葉)
日下部光樹 (静岡)	岡村正夫 (新潟)	佐野清人 (静岡)	小嶋昌之 (群馬)	藤原秀彦 (長野)	青葉千穂 (千葉)
水谷輝彦 (静岡)	高野義弘 (新潟)	井出大悟 (静岡)	池原克己 (茨城)	山本貴幸 (長野)	加藤喜久男 (千葉)
平岡伸浩 (静岡)	高田浩治 (新潟)	廣田正一 (福岡)	小野敏敬 (茨城)	長瀬文洋 (長野)	宮崎茂昭 (千葉)
木村友紀 (静岡)	太田富大 (青森)	塩抄和紀 (大分)	安河内智之 (茨城)	藤田正一 (長野)	松田芳洋 (秋田)
大野貴昭 (静岡)	田中久憲 (青森)	佐藤宏俊 (山梨)	山田かね子 (岐阜)	山田 守 (長野)	
津川義正 (静岡)	津田明徳 (青森)	若崎元朗 (大分)	山内和広 (青森)	中島朋子 (大分)	

投稿歓迎
全国の会員の皆様のご投稿をお待ちしています。支部・道場の行事の模様などの「原稿・写真」をお気軽にどうぞ。投稿原稿は800字以内。ワープロ、パソコン(PD)、原稿用紙でお願ひします。なお投稿いただいた原稿等は原稿として返却いたしませんのでご注意ください。
ホームページ、電子メールもご利用ください。詳細はお問い合わせください。

各地区審査委員

北海道地区	網谷貞幸	TEL/FAX 011-832-1182
東北地区	佐藤龍明	TEL/FAX 022-285-3208
関東地区	榎戸龍介	TEL 03-3714-6489 FAX 03-3714-4093
北信越地区	大日方俊夫	TEL 026-244-2659 026-234-5964 FAX 026-244-4170
東海地区	植山正仁	TEL 052-351-7300 FAX 052-355-3557
近畿地区	小島弘己	TEL/FAX 0720-75-0295
九州地区	輪田敏昭	TEL 092-661-0500 FAX 092-661-6504

●販売 千112-0004 東京都文京区後楽2-23-15 日本空手協会本部「JKAニュース」係
TEL.03-5800-3091(担当・中)
●ホームページ <http://www.jka.or.jp> ●電子メール sohonbu@jka.or.jp

〈次号「2004年新春号」は2月発行の予定です〉

協会の型を完全網羅!

空手道型教本 絶賛発売中

第1巻 平安初段・式段・参段・四段・五段、鉄騎初段	2000円(税込)
第2巻 抜塞(大)、観空(大)、慈恩、燕飛	3000円(税込)
第3巻 岩鶴、十手、半月、鉄騎式段・参段	3000円(税込)
第4巻 抜塞(小)、観空(小)、壮鎮、二十四歩、雲手	3000円(税込)
第5巻 王冠、五十四歩(大)、五十四歩(小)、明鏡、珍手	3000円(税込)

発行●日本空手協会・師範会 03(5800)3091

(社)日本空手協会指定 審判用スラックス



ツータック ポリエステル100%
ウエスト73~88cm ¥7100(税込)
ウエスト91~110cm ¥7400(税込)
(サイズは3cm刻み、裾上げはご自身でお願いします)
送料(1~9本) ¥800
10本以上無料

問い合わせ先 (株)東海堂 03-3262-0281